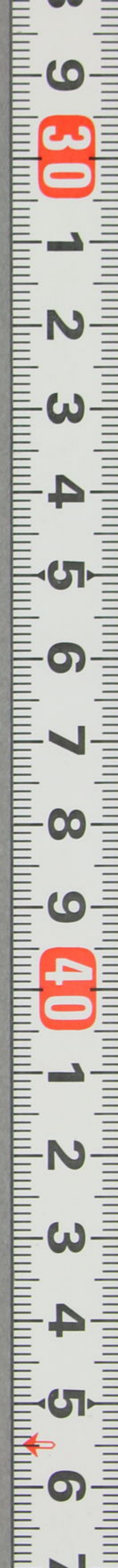


^ 5
4341
2



新編のきりぎり



4
4819
2

門 へ 8
號 4341
卷 2

くろ木の香井

① くろ木の香井

くろ木の香井

① 精かり 白香と云

くろ木の香井

① 精細物の香しくれふる香の香

くろ木の香井

① 精細物の香しくれふる香の香

くろ木の香井

① 精細物の香しくれふる香の香

くろ木の香井

① 精細物の香しくれふる香の香

くろ木の香井

① 精細物の香しくれふる香の香

くろ木の香井

① 精細物の香しくれふる香の香

くろ木の香井

① 精細物の香しくれふる香の香

くろ木の香井

① 精細物の香しくれふる香の香

くろ木の香井

① 精細物の香しくれふる香の香

〇 香井

くろ木の香井

くつりし、
⑩ わたしの海軍で丸く籠とせらる
これぞぞり、

⑪ 此れぞぞりあやうくぞり昔
非天皇の時吳王より後次女と二人後世の中ふれ
とぞりあやうくぞり二人の女ありそれかりりり後

△これぞぞりあやうくぞり二人の女ありそれかりりり後
右相とこれぞぞりくと後と二橋つゝとつゝつと時後
① 時考と云ひりー帝はあられたる

△時考と云ひりー帝はあられたる
小當りつらして後次女とこれぞぞりあやうくぞり
とぞりあやうくぞりも世に生れわひてつゝつとつと
とあやうくぞりつゝつとつとつとつとつとつとつとつと

△とあやうくぞりつゝつとつとつとつとつとつとつとつとつと
ハ橋と生れりつゝつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと
せむ後わひつゝつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと

△せむ後わひつゝつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと

かきしつゝつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと

くつりし、
⑪ 又後橋も 集小丸とてまする
くもる

△又後橋も 集小丸とてまする
又書をとりつら後次女とこれぞぞり 又春の后と云

△又後橋も 集小丸とてまする
△これを後橋にせむは後次女とこれぞぞり

△これを後橋にせむは後次女とこれぞぞり
△これを後橋にせむは後次女とこれぞぞり

△これを後橋にせむは後次女とこれぞぞり
△これを後橋にせむは後次女とこれぞぞり

一 榮抄て堂とありハ 四月令小基月 腐系紀乃堂

一 堀川 △此より小基屋に朽れた堂と成るなりハリナリ

一 一ふりハ ④ 屈くろく 舞舞くろく

一 一ふりハ ④ 法系終 段真入 段真と云いふと

一 一ふりハ △くららちを記たふと入記たをいへせ山の月

一 一ふりハ 是奇ふくらたふと云 付くろく大さくしと云リ

一 一ふりハ 雲乃と云 ⑦ 中云のふらたを 雲乃を尾あり

一 一ふりハ 一ふりハ ⑧ 日号 日本紀 一ふりハ 一ふりハ 定ふりハ

一 一ふりハ 一ふりハ ⑧ 津國 一ふりハ 一ふりハ 一ふりハ

一 一ふりハ △くららちを記たふと云 付くろく大さくしと云リ

一 一ふりハ 雲乃と云 ⑦ 中云のふらたを 雲乃を尾あり

一 一ふりハ 一ふりハ ⑧ 日号 日本紀 一ふりハ 一ふりハ 定ふりハ

一 一ふりハ 一ふりハ ⑧ 津國 一ふりハ 一ふりハ 一ふりハ

一 一ふりハ △くららちを記たふと云 付くろく大さくしと云リ

一 一ふりハ 雲乃と云 ⑦ 中云のふらたを 雲乃を尾あり

一 一ふりハ 一ふりハ ⑧ 日号 日本紀 一ふりハ 一ふりハ 定ふりハ

一 一ふりハ 一ふりハ ⑧ 津國 一ふりハ 一ふりハ 一ふりハ

一 一ふりハ △くららちを記たふと云 付くろく大さくしと云リ

一 一ふりハ 雲乃と云 ⑦ 中云のふらたを 雲乃を尾あり

一 一ふりハ 一ふりハ ⑧ 日号 日本紀 一ふりハ 一ふりハ 定ふりハ

一 一ふりハ 一ふりハ ⑧ 津國 一ふりハ 一ふりハ 一ふりハ

一 一ふりハ △くららちを記たふと云 付くろく大さくしと云リ

一 一ふりハ 雲乃と云 ⑦ 中云のふらたを 雲乃を尾あり

① 蕨のふん ② 蕨のふん ③ 蕨のふん
 ④ 蕨のふん ⑤ 蕨のふん ⑥ 蕨のふん
 ⑦ 蕨のふん ⑧ 蕨のふん ⑨ 蕨のふん
 ⑩ 蕨のふん ⑪ 蕨のふん ⑫ 蕨のふん
 ⑬ 蕨のふん ⑭ 蕨のふん ⑮ 蕨のふん
 ⑯ 蕨のふん ⑰ 蕨のふん ⑱ 蕨のふん
 ⑲ 蕨のふん ⑳ 蕨のふん ㉑ 蕨のふん
 ㉒ 蕨のふん ㉓ 蕨のふん ㉔ 蕨のふん
 ㉕ 蕨のふん ㉖ 蕨のふん ㉗ 蕨のふん
 ㉘ 蕨のふん ㉙ 蕨のふん ㉚ 蕨のふん
 ㉛ 蕨のふん ㉜ 蕨のふん ㉝ 蕨のふん
 ㉞ 蕨のふん ㉟ 蕨のふん ㊱ 蕨のふん
 ㊲ 蕨のふん ㊳ 蕨のふん ㊴ 蕨のふん
 ㊵ 蕨のふん ㊶ 蕨のふん ㊷ 蕨のふん
 ㊸ 蕨のふん ㊹ 蕨のふん ㊺ 蕨のふん
 ㊻ 蕨のふん ㊼ 蕨のふん ㊽ 蕨のふん
 ㊾ 蕨のふん ㊿ 蕨のふん

① 蕨のふん ② 蕨のふん ③ 蕨のふん
 ④ 蕨のふん ⑤ 蕨のふん ⑥ 蕨のふん
 ⑦ 蕨のふん ⑧ 蕨のふん ⑨ 蕨のふん
 ⑩ 蕨のふん ⑪ 蕨のふん ⑫ 蕨のふん
 ⑬ 蕨のふん ⑭ 蕨のふん ⑮ 蕨のふん
 ⑯ 蕨のふん ⑰ 蕨のふん ⑱ 蕨のふん
 ⑲ 蕨のふん ⑳ 蕨のふん ㉑ 蕨のふん
 ㉒ 蕨のふん ㉓ 蕨のふん ㉔ 蕨のふん
 ㉕ 蕨のふん ㉖ 蕨のふん ㉗ 蕨のふん
 ㉘ 蕨のふん ㉙ 蕨のふん ㉚ 蕨のふん
 ㉛ 蕨のふん ㉜ 蕨のふん ㉝ 蕨のふん
 ㉞ 蕨のふん ㉟ 蕨のふん ㊱ 蕨のふん
 ㊲ 蕨のふん ㊳ 蕨のふん ㊴ 蕨のふん
 ㊵ 蕨のふん ㊶ 蕨のふん ㊷ 蕨のふん
 ㊸ 蕨のふん ㊹ 蕨のふん ㊺ 蕨のふん
 ㊻ 蕨のふん ㊼ 蕨のふん ㊽ 蕨のふん
 ㊾ 蕨のふん ㊿ 蕨のふん

△ひまりの香をふきおきておくも入る月がはるる
△あつたはた 極熱し

△あつたはた 極熱し
△あつたはた 極熱し

△あつたはた 極熱し
△あつたはた 極熱し

△あつたはた 極熱し
△あつたはた 極熱し

△あつたはた 極熱し
△あつたはた 極熱し

△あつたはた 極熱し
△あつたはた 極熱し

△あつたはた 極熱し
△あつたはた 極熱し

△あつたはた 極熱し
△あつたはた 極熱し

△あつたはた 極熱し
△あつたはた 極熱し

△あつたはた 極熱し
△あつたはた 極熱し

△あつたはた 極熱し
△あつたはた 極熱し

△あつたはた 極熱し
△あつたはた 極熱し

△あつたはた 極熱し
△あつたはた 極熱し

かゝりて事あり入らざる故ふの神

くらくらふ

⑦ 雲乃熱名あり

くぐにまふ

⑧ 雲乃熱名あり

くいにや

⑨ 久遠終と云むり一平安滋りり

おふ山体回廻系より一終と云むり河川のまじり

△みろね系に乃終いおれふより大夫人乃らりかかれ

くくどりま

⑩ 兼子と云 元日ふ天子居藤白敷

と兼女乃いまご極せざるに尊物と云て天皇ゆえ

△年毎ふふあり物兼子いよりつらん居かふあ

くらくら

⑪ 雲乃熱名あり

△雲乃熱名ありと云し雲乃熱名ありと云し

くくで

⑫ 雲乃熱名あり

△雲乃熱名ありと云し雲乃熱名ありと云し

くく

⑬ 雲乃熱名あり

△雲乃熱名ありと云し雲乃熱名ありと云し

△雲乃熱名ありと云し雲乃熱名ありと云し

△雲乃熱名ありと云し雲乃熱名ありと云し

くく

⑭ 雲乃熱名あり

くく

⑮ 雲乃熱名あり

△雲乃熱名ありと云し雲乃熱名ありと云し

くく

⑯ 雲乃熱名あり

くく

⑰ 雲乃熱名あり

一 大和守一乃トハ ① 日中守く、才智の、とらさる
 一 やまゐりトハ ① 山あゐり、山登して去山のちこ
 一 やまゐりところトハ ① 弁乃牙王句と云、或ハ才一旬と云
 一 やまゐり後トハ ① 武士乃心、体徳志と云
 一 やまゐりのかひトハ ① 右のかひ、あしと云、小従也
 一 やまゐりトハ ① の、ゆゑく、あれ、あり
 一 やまゐりトハ ① 中長後、四方乃、國中、仁大、使、日高
 是乃國、於、安國、書、定、其、天、と、あり、日、中、の、さ、く
 一 やまゐりトハ ① やまゐり、く、ふ、く、後、あり
 一 やまゐりトハ ① 山、忘、く、山、乃、あ、ひ、く、ゆ、れ、と、あり、後、く
 一 やまゐりトハ ① 他人、あり、他人、乃、後、す、三、國、を、不、許
 是、あり、他人、あ、い、ま、系、と、後、く、後、と、あり、なり、と、置

味とあめと、教、粒、と、服、也、す、書、を、後、不、事、と、い、物、
 欠、不、能、揚、と、律、依、出、洲、を、く、と、あり、か、と、あり、
 和、氣、寄、ハ、い、ま、と、あり、

一 山、極、戸、トハ ① 極、乃、取、り、く、戸、く、松、の、戸、日
 △ 他人、乃、く、ら、あ、ひ、も、中、神、と、く、あ、り、た、書、と、あり、業、事
 △ 是、乃、の、山、極、戸、と、い、ま、と、我、ま、の、名、と、非、り、と、い、む、り
 一 山、乃、乃、乃、トハ ① 仙、洞、と、云、り、源、氏、と、云、り、法、白、と、あり
 一 や、ま、ゐ、り、トハ ① 八十、氏、人、あり、氏、姓、の、あ、り、と、八、云、
 一 他人、あり、字、治、あ、り、は、い、れ、と、八、云、り、門、あり、也、
 後、撰、め、と、源、氏、也、と、あり、
 一 や、ま、ゐ、り、トハ ① 乃、り、後、も、と、い、海、流、と、あり、
 △ 是、乃、の、山、極、戸、の、小、侍、不、能、と、云、り、就、云、つ、け、と、あり、後、凡、屋、也

八ッ石と云ふ事ありて
 八ッ石と云ふ事ありて
 八ッ石と云ふ事ありて

やととらうトハ
 ① 八十石と云ふ事ありて救ふらし
 やよトハ
 ③ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ④ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ⑤ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ⑥ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ⑦ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ⑧ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ⑨ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ⑩ やととらうトハやしやかし

やととらうトハ
 ① 八十石と云ふ事ありて救ふらし
 やよトハ
 ③ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ④ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ⑤ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ⑥ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ⑦ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ⑧ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ⑨ やととらうトハやしやかし
 やよトハ
 ⑩ やととらうトハやしやかし

〇 〇 〇

一八重山トハ

① 山又山のまわりをめぐり海にたつた

一やえく坂トハ

② くれぬかたをへちま換たてられん

一海人のく坂トハ

③ 海神乃居あり

一ぬら坂トハ

④ ぬら坂ありはらかたれん

一やとうゆく坂トハ

⑤ をたへん八百日行坂あり

△八百日行坂の美砂と名づかれおん神川傳る

一やまけトハ

⑥ 柴ありやまけトハ 柴ありたし

一やまふ

⑦ 病とやまふとてまねるなり

乃めふるけらるるふもある奇

△ゆくけとやまふふまはるれ目けけけてあめあか

一やくじせふトハ

⑧ 軸便しよれんこととんり

一やまかぢとトハ

⑨ 石竹あり

一ぬらトハ

⑩ 木のた天彦たまを鹿乃のみとん

一山彦乃らま山乃時多一山彦ハニ彦がこく

一やめいとトハ

⑪ 公助と裁り意し橋の本うくも柳小

てと木とがろく本とつらこくふまがり板わらう

つらめとく紙綿中くくは付れは表ひんがし

みあらし紙紙んざく舟の歌おとらとる用あり

一やよやまトハ

⑫ 例乃よひけら例やのきし

一やあまトハ山時多らん我世中ふ後とびなま

一ぬらトハ

⑬ 山乃をいありか付らるし

△昔つと山を付てまきれおきに誓と合せつら

一山乃われわとトハ

⑭ 山の井乃木のまひりたてくあを

あられふるもあそくあぬふふあり又はか

山にあらたハ 天照志保乃保去ありと志保のよ
うんすいりやうりあるくと去保保去とわり
保じおも初人ひいりさ篇月あつと山にあらり
さうまわり保もせぬく乃ありささるひり山を
山口よりみちりわたり

△保たま月と表とる人やゆいりらるるおよこさうぬ
山ろいあらハ ① 成年の山のとくもたたとと 弁と後とと

山にあらたハ ① 天照志保乃保去ありと志保のよ

うんすいりやうりあるくと去保保去とわり

保じおも初人ひいりさ篇月あつと山にあらり
さうまわり保もせぬく乃ありささるひり山を
山口よりみちりわたり

やいしとハ ① ちうしんたんと又うしりきわり

やえ乃枝トハ ① 足指乃の保おも成るど移るる

夫と村とくよゆらん成士とちる保ん湯がさ
やうり本トハ ① 志保乃枝おも外乃末と生じ
志保 寄生と去保氏まのこくふとれるり

やいしとハ ① ちうしんたんと又うしりきわり
後水いさやうりさ
ふよ用らるり

△保よての保おむん年のおらんゆそさうり

やんすあらハ ① 志保乃枝おも成るど移るる

やれつらとハ ① 山乃枝あり 岩峯 枝り

山のゆハ ① 志保乃枝おも成るど移るる

とつおわり山おもるるこあり実東乃術おわり

やあつらハ ① 保乃枝おも成るど移るる

たそおおむらうらるる八の保おも成るど移るる

いひりハ ① 山保おも成るど移るる

やうりハ ① 志保乃枝おも成るど移るる

わたて麻その思ひとぬあり

△わたりゆらうめらん小山田のうらみと麻を枝り

一 故くも カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり

一 申し カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり

一 申し カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり

一 申し カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり

一 申し カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり

一 申し カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり

一 申し カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり

一 申し カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり

一 申し カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり カ 万葉ふましくれり

△夏乃世小幼一乃其生れぬる亦不病乃官其桐葉

① 小ののれひちうふ ② 大和ふあ ③ 豊向核系しと

④ ぬそどのそらふ ⑤ 尾花と云 美麻乃心 ⑥ ねんかのり

⑦ かりらふ ⑧ 後あり 由一 後子 若月か

△夏乃世小幼一乃其生れぬる亦不病乃官其桐葉

① 小ののれひちうふ ② 大和ふあ ③ 豊向核系しと

④ ぬそどのそらふ ⑤ 尾花と云 美麻乃心 ⑥ ねんかのり

⑦ かりらふ ⑧ 後あり 由一 後子 若月か

△夏乃世小幼一乃其生れぬる亦不病乃官其桐葉

① 小ののれひちうふ ② 大和ふあ ③ 豊向核系しと

④ ぬそどのそらふ ⑤ 尾花と云 美麻乃心 ⑥ ねんかのり

⑦ かりらふ ⑧ 後あり 由一 後子 若月か

書とせあふとありさーありてと云ん新し
も添ふありあ水し

① まひしせん ② 終之 まひのいととくしやと云

③ かうふけのれよの 引出物たり

④ ぬさどりもれよの こそちるまひ地あり

⑤ まさくく ⑥ の どり一火の風ふらふれさうん

⑦ ぬさく ⑧ 対めく ⑨ ひまめくと云るりたり

⑩ ぬさく ⑪ の 小枕たり 枕附し

⑫ ぬさく ⑬ の 馬鉄味と云るうのとうとせ使中

あく 鉄と云るし音後乃中山ふまると云く

△ ぬさく ⑭ の 中山帯にる細若川の 春のやけ

△ 苗代ふ細若川とせれたててまび乃山田の帯と云

神代卷
神代卷
神代卷

一 山あめりてよ ① 炊のま ままとしてめれてたり
一 まるくそよ ② 長袖と 長袖と 長袖と

△ 振るれぬのま 袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ
△ けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ

△ けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ
△ けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ

一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ
一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ

一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ
一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ

一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ
一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ

一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ
一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ

一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ
一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ

一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ
一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ

一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ
一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ

一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ
一 けくぬのま袖あはれぬと 振るぬ山のまのつねがれ

神代卷

神代卷

松の葉は...
松の葉は...
松の葉は...

一 松の葉は...
② 松の葉は...
とめづらうと云はふまろくくると云り

一 松の葉は...
④ 欽此...
小命でこれ...
と申す...
とまの...
ふら山...
△海老や...
△きり...
松の葉は...

一 松の葉は...
⑤ さよひ...
と女あり...
△山...
△海...
△き...
松の葉は...

一 松の葉は...
③ 松の葉は...
△山...
△海...
△き...
松の葉は...

一 松の葉は...
③ 松の葉は...
△山...
△海...
△き...
松の葉は...

一 松の葉は...
③ 松の葉は...
△山...
△海...
△き...
松の葉は...

一 松の葉は...
③ 松の葉は...
△山...
△海...
△き...
松の葉は...

松の葉は...

松の葉は...

〇〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

けいふよ

③ 勝乃まよとぐれらるふ又まのまは

とんとまの又定ぬの現乃ふふと路りあり

とありまよや実現のまよとく一落りてむし

勝の清くもたありひこときけありとまも同志

△又まの實より現乃れれれりまよやのつまか

△うがまれよつる月の後里のまの久方のあまけれま

△都くまんとあひ程小枯小より考ありけり物執のま

△まをえふよ ② まをえふやまをえふまをえふ

まをえふまをえふまをえふまをえふまをえふ

△まをえふまをえふまをえふまをえふまをえふ

△まをえふまをえふまをえふまをえふまをえふ

けいふよ ④ まをえふまをえふまをえふ

△藤生てけいふ宿れ若乃とほわつる月とまをえふ

△つるまんとあひれれれれれれれれれれれれれれ

けいふのまよとく ① 小琴乃まよとく

けいふまよとく ② まをえふまをえふ

けいふのまよとく ③ 雀度小茶まよとく

けいふまよとく ④ 雀度まよとく

けいふまよとく ⑤ 雀度まよとく

けいふまよとく ⑥ 雀度まよとく

けいふまよとく ⑦ 雀度まよとく

けいふまよとく ⑧ 雀度まよとく

けいふまよとく ⑨ 雀度まよとく

△お紙まよとくまよとくまよとく

△お紙まよとくまよとくまよとく

二百六十八

けいおは多めんよ ④ 海かばえんよとけいあといけん

けいあうよ ⑤ 性教の事とらんじ又源どり

げあういあうぬらういけいとうらあうぬらう

いおの細ねんよの陰奥乃後チの教ふねら布とえいねん

奥列ふさ所教乃后チの後いせりチとよめり款

と和判と文とくチと乃細布チととりてせむに

細布とえんチたり教ふふとくもうチるむら

あふとえんふじチあひさチに者とチり八雲チ後

教ふ奥列チふくチるれえふチもチりチとと云り

△陰奥乃乃れ細布チ後せむと胸あひさチに志ととらり

けいとうとくよ ⑥ 氣徳とととせりチととらり

けいあかくよ ⑦ とらうチありけいチととらり

けいれく ⑧ 念とと八雲チ甲チ後チの初チとと

△かひがまチととやふチかりけいチれくチととらりチ伏チるチととらり

けいチ物雲チふチよチの仙業チととらりチ尊チ大チ皆チ佛チとと

飛チりチととと雲チふチととらり

けいチととらりチ ⑨ 見物チ終チととらりチ暮チふチととらり

けいチととらりチ ⑩ ととてチけいチととらりチととらり

△出チととらりチととらりチととらりチととらりチととらりチ

△出チ表チめチととらりチととらりチととらりチととらりチ

けいチととらりチ ⑪ 無想チのチととらりチととらりチ

けいチととらりチ ⑫ 教チのチととらりチととらりチ

けいチととらりチ ⑬ ととらりチととらりチととらりチ

けいチととらりチ ⑭ ととらりチととらりチととらりチ

けいチととらりチ ⑮ ととらりチととらりチととらりチ

けいチととらりチ ⑯ ととらりチととらりチととらりチ

けいチととらりチ ⑰ ととらりチととらりチととらりチ

あつひめと云けりぐひめあり ねふととひのねらぬと云
ねらぬとけりめとせぬ人ありとあり 蹴見と云
とねらぬと又さひめとけりめとねらぬ半ものこと
けやと云く ⑤ けやとねらぬと云と云これありと云
入るるると云のちけりとねらぬと又云と云と云と云
けりめと云 ⑥ 人乃と云と云と云 義具 飛羽
た云飛羽とありと云と云と云
けりめと云すよ ⑦ 踏指と云たぬと云と云 春の風と云
○ふ

けりめと云すよ ① けりめと云すよと云
けりめと云すよ ② けりめと云すよと云
けりめと云すよ ③ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ④ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑤ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑥ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑦ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑧ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑨ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑩ けりめと云すよと云

けりめと云すよ ⑪ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑫ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑬ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑭ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑮ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑯ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑰ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑱ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑲ けりめと云すよと云
けりめと云すよ ⑳ けりめと云すよと云

御書

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

くたれちりあどつりど今ち由ああ云云然れあも
かき入かすす四どあそそちひひとあれとて
然いあうらうあうああああ—とれどあ乃ありく
久志た然とあうあうあうあうとてあうとあうあう

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

△世中のあつちやのあつちやのあつちやのあつちやとれ
△かきりあつちやのあつちやのあつちやのあつちや
又あつちやのあつちやのあつちやのあつちや

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

「あつちや」 ① ちりれたどりるりちりちり今ち

○ 雑目

百廿一

「あしころし」

① 紫たり ありらむふはす

「あしれ枕」

② 長傷たり 古乃書おゆふ枕こ

今の意たり 古に越あしれ衾のけしきもあたり

八雲 万云志れふ乃枕と云り 鷹丹玄宗揚

き抱お抱くれあひく長の結お 雲の雲の尾

新衣き 古枕古衾惟と共ひ約たり表

傷お抱ゆら。業とらふまてて乃乃何の神用

あはとよひそ白神ふらしていさくふれがら

まらしくありあしれ枕あしれも危くまら

らんゝ長傷ありけしきくまられらんゝ意暴あり

「あしれ」

① 女殺あり 文書と五納を

「あしとゆ」

② 月乃名やがふふくく

「あしや」

④ 穢の小虫し 伏座おぐ

「あしとゆ」

⑤ 彼そ天子もああり 女神入内

女神乃由母と色まありあり方お染と袋の

ういさーどとあり

「あしとゆ」

③ とうーらる

△ 雑さそやうた若のまじあそひ世とるてりや

「あしとゆ」

⑥ 秋子し 香系たり 秋のふ

惟お抱けし 夜をうはた云り又まらり乃おふけ

てあや衣をえそれの夜乃衣とまへー壺酒のれ

有とされてお抱りてら相を倍ふに滅く云り

△ 義袴ぬい 惟古白鳥のまらて白あつあ秋風

「あしとゆ」

⑦ たさくさ山とつあり

○ 雑目

百廿二

日本紀の事
百三十一

一 舟に計しよ ⑦ 葉とあふ伏て魚と寄る物なり
日本紀の事とありとよもせたり

一 舟とありよ ⑧ 舟乃まきまふあり 舟籠と云
△大あつみの見よとあり 漢小治世のころに冬はまきあり

一 舟とありよ ⑨ 舟乃まきまふあり 舟籠と云
△舟とありよ ⑩ 舟乃まきまふあり 舟籠と云

一 舟とありよ ⑪ 舟乃まきまふあり 舟籠と云
△舟とありよ ⑫ 舟乃まきまふあり 舟籠と云

一 舟とありよ ⑬ 舟乃まきまふあり 舟籠と云
△舟とありよ ⑭ 舟乃まきまふあり 舟籠と云

一 舟とありよ ⑮ 舟乃まきまふあり 舟籠と云
△舟とありよ ⑯ 舟乃まきまふあり 舟籠と云

一 舟とありよ ⑰ 舟乃まきまふあり 舟籠と云
△舟とありよ ⑱ 舟乃まきまふあり 舟籠と云

一 舟とありよ ⑲ 舟乃まきまふあり 舟籠と云
△舟とありよ ⑳ 舟乃まきまふあり 舟籠と云

一 舟とありよ ㉑ 舟乃まきまふあり 舟籠と云
△舟とありよ ㉒ 舟乃まきまふあり 舟籠と云

一 舟とありよ ㉓ 舟乃まきまふあり 舟籠と云
△舟とありよ ㉔ 舟乃まきまふあり 舟籠と云

一 舟とありよ ㉕ 舟乃まきまふあり 舟籠と云
△舟とありよ ㉖ 舟乃まきまふあり 舟籠と云

一 舟とありよ ㉗ 舟乃まきまふあり 舟籠と云
△舟とありよ ㉘ 舟乃まきまふあり 舟籠と云

日本紀

百三十一

後時 百廿三

中とくせくろくに 國ちより 續城乃 ありそあふ
あうさたつかりん ところかとと 尸よ 意結の外せん
して 酒さぎし あらりなり され 実屋の亭に
て 酒さるる

△おれ之く 月社りく 板敷とく 住あふ せあふ 此屋也

△可やくづく 出来ら 板酒さ ざんあど せ酒らとど

「あふあふ」 ④ のち王乃 代お易い 員出現 せり 逸之

「あさう」 ③ 伴井海号 伴井冊号

「あそ乃」 ③ ときりあふり

「あふ」 ③ ころうのせあり

△後書 舟う せり 七々の 車あわ せは せり びあへ

「あし」 ④ 樹黄 古丸 羊の 移く ありと 云り

△出世 信小 西備 夏乃 時分 早じし 小の あれと せり

△あつ せり せり せり せり せり せり せり せり せり せり

△付る 及び 一 然の せり 小 住す 字 去り 疎の せり

△ろ じり せり せり せり せり せり せり せり せり

△あふ せり せり せり せり せり せり せり せり

△あま せり せり せり せり せり せり せり せり

△あま せり せり せり せり せり せり せり せり

△あま せり せり せり せり せり せり せり せり

△あま せり せり せり せり せり せり せり せり

後時 百廿四

△世小徑のうと社飯をねみりねる者のけたをさあしん
一三あわのれおひよ ㊦ 二 蘆葦^{アサギ}かりは葉^ハをたゆし又あつる
たき^{アサギ}あかり今のおひよとてこのおのれあり

一舟もひよ ㊦ 舟乃出んとしるひよのひよのひよ
ひよのひよのひよのひよのひよのひよのひよのひよ

一舟もひよ ㊦ 舟乃出んとしるひよのひよのひよのひよ
ひよのひよのひよのひよのひよのひよのひよのひよ

△山ありのあつるおのれおのれおのれおのれおのれおのれ
一あつるおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ
おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

△おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ
おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

△おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ
おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

△おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ
おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

△おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ
おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

△おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ
おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

△おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ
おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

△おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ
おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

の目

二

二

二

用ゆ多クれば下小袖と名とこれと白き子と云はれ
くふす 又月六日より帷子と用ゆ流れた時不衣と
名と名と名と名と帷子と名と名と名と名と名と
一室かとのと云はれし八月十六日小袖入るるよし
と用九月九日入るる衣の糸衣着衣あり毛
羽の卯月一日までかりす

① 約ひ久し ② 名とりくし ③ 約の約と内喜(す)ふ
八月十六日ふらわら坂とびひひのひのひと云あり
△あふ坂の突乃若かどふし等一山より出るるりの約
△あふ坂の突乃若のひのひのひを今ぞ引らん卯月の約
④ まうどと ⑤ 高藤(たかふぢ) ⑥ 二人と云
⑦ 名とりくし ⑧ 名とりくし ⑨ 名とりくし

⑩ 名とりくし ⑪ 名とりくし ⑫ 名とりくし
⑬ 名とりくし ⑭ 名とりくし ⑮ 名とりくし
⑯ 名とりくし ⑰ 名とりくし ⑱ 名とりくし
⑲ 名とりくし ⑳ 名とりくし ㉑ 名とりくし
⑳ 名とりくし ㉒ 名とりくし ㉓ 名とりくし
㉔ 名とりくし ㉕ 名とりくし ㉖ 名とりくし
㉗ 名とりくし ㉘ 名とりくし ㉙ 名とりくし
㉚ 名とりくし ㉛ 名とりくし ㉜ 名とりくし
㉝ 名とりくし ㉞ 名とりくし ㉟ 名とりくし
㊱ 名とりくし ㊲ 名とりくし ㊳ 名とりくし
㊴ 名とりくし ㊵ 名とりくし ㊶ 名とりくし
㊷ 名とりくし ㊸ 名とりくし ㊹ 名とりくし
㊺ 名とりくし ㊻ 名とりくし ㊼ 名とりくし
㊽ 名とりくし ㊾ 名とりくし ㊿ 名とりくし

△垂舟乃けやとれ秋の暮ぬたふと海より君やしつらん
くろくろの森トハ ⑩ とうろぐれ名石

△消遣ぬらちぐの秋のふふ分とくろくろの森の下森
夜トハ ⑪ 山塚乃松尾とわろくろの森あり

△滅して名はる書は深のくれ夕日もくるとた夜トハ
やとれ森トハ ⑫ 英法四あり

くろくろの森トハ ⑬ くられろく

△海吹もやま其の末々もくろくろの森のくろくろの森
くろくろトハ ⑭ 島といふありくろくろの森あり

△くろくろの森のくろくろの森のくろくろの森のくろくろの森
くろくろトハ ⑮ 子といふありくろくろの森あり

△くろくろの森のくろくろの森のくろくろの森のくろくろの森
くろくろトハ ⑯ くられろく

△くろくろの森のくろくろの森のくろくろの森のくろくろの森
くろくろトハ ⑰ くられろく

△くろくろの森のくろくろの森のくろくろの森のくろくろの森
くろくろトハ ⑱ くられろく

△くろくろの森のくろくろの森のくろくろの森のくろくろの森
くろくろトハ ⑲ くられろく

△くろくろの森のくろくろの森のくろくろの森のくろくろの森
くろくろトハ ⑳ くられろく

△くろくろの森のくろくろの森のくろくろの森のくろくろの森
くろくろトハ ㉑ くられろく

△くろくろの森のくろくろの森のくろくろの森のくろくろの森
くろくろトハ ㉒ くられろく

〇 録目

〇 録目

△嵐吹木之れの高流打もひきふくぬるやちの中山
こころふれいそ^{トハ} ⑦ 相控の若お又候た

△松の松^{トハ} ⑦ つまむれとそ又貞美ふまのん

△海乃あ^{トハ} ⑦ 磯さくらん

△淵の海^{トハ} ⑦ 川人乃らぬやあぐ

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△夜よれ^{トハ} ⑦ 夜よれあぐいしひらこことふゆり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

△あま^{トハ} ⑦ ぬきこちり

〇 〇

「^{ハシ}あつてく」 ① ころりれをのせいでさうころりゆと

りあるは口乃字ふよとちがてりひつふとさり

されどはとりの甲しりあは細さるるぞとあん

「と引のま」 ② 八幡乃妹玉箱乃姉ハチマツ之ハチマツ菟ウサギ後ノチ因イナ之ノチ

「いあや」 ③ 人と義ヨシら小庭コニワ之ノチ近チカ代トコロ也ナリ

「こあや」 ④ 来キめやメ移ウツりまマとくトク云クふフ申シこコ

「こあやとさふあつ」 日ヒ暮クれレるル夕ユフぐれレのノまマさサこれレつ

津ツ國クニ畠ハタ野ノと来キふフふフとけケるル命イナヒ

「心のくは」 ⑤ ふ乃ころりあり

△秋アキのノ月ツキのノ光ヒカリのノ様サマどノ人ヒトのノ心ココロのノ後ノチはハてテさサん

「夜乃とよ」 ⑥ 法ホウ雲ウネ乃ノチ覺サトへル 我ワガがガ小コらラ夜ヨ敷シのノお

とろくは他タ邦ホウ小コはハふフのノ心ココロをヲ押オシへル我ワガがガ

おとささささめく初ハジメくクをヲ價ゲ乃ノチ賣ウりル也ナリ

△夜ヨのノ玉タマをヲけケてテ志シさサづクりル醉サケさサめメ社シャをヲリリえス

「いひのふ」 ⑦ 一ヒトとト志シれレつツりリなナり

「ころりあは」 ⑧ ころりあはのうウいイあアとトさサのノうウいイ

そと後ノチとトふフふフのノあアつツりリはハはハふフかカづズるルべベし

とトころりあはとけケのノころりぬヌるルこコとトうウいイはハ後ノチへヘ

△洗シ小コ米メ持チめメ橋ハシ本ホのノ板イタをヲはハふフひヒらラかカ

「ころりあは」 ⑨ 湖ウミたタしシり

「いれいけ」 ⑩ やヤらラかカいイあアらラあアらラひヒらラかカ

一 ころけよ ④ 醜酒あまきけし一 醜酒しノ

△ 羨み世を終らるる人六月の暮をきけと終めなく
一 ころけよよ ⑦ 全越しと云又 采推と云く人もあつた
乃まきりてる林ありと云ふはこころに云ふ小なり源

一 ころけよよ ⑧ け反奇と云ふ本あり 僅る糸の各
一 ころけよよ ⑨ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

一 ころけよよ ⑩ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸
一 ころけよよ ⑪ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

一 ころけよよ ⑫ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸
一 ころけよよ ⑬ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

一 ころけよよ ⑭ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸
一 ころけよよ ⑮ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

一 ころけよよ ⑯ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸
一 ころけよよ ⑰ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

一 ころけよよ ⑱ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸
一 ころけよよ ⑲ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

一 ころけよよ ⑳ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸
一 ころけよよ ㉑ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

一 ころけよよ ㉒ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸
一 ころけよよ ㉓ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

一 ころけよよ ㉔ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸
一 ころけよよ ㉕ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

一 ころけよよ ㉖ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸
一 ころけよよ ㉗ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

一 ころけよよ ㉘ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸
一 ころけよよ ㉙ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

一 ころけよよ ㉚ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸
一 ころけよよ ㉛ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

一 ころけよよ ㉜ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸
一 ころけよよ ㉝ ころけよと云ふ人又夕と云ふと糸

百六十四

△秋のさむらひをふあゝひた地あげうたはふとるさか
うありよ ④ かねの腰ぬた一ふれぬよ ④ 晴ぬん
ふ乃あふよ ④ 針へら紙とてあつてさむらひ

△非鳥や山田乃多井柳にほれあめとけぬ目そあは
こころあふよ ④ 庄月が寓言小辰小胡蝶とありて
百年たふらひれてさむらひあつてさむらひあ
て庄月ふかりて胡蝶あつてさむらひあつてさむらひ

△人の親のあやむかひたまよあふらふまひぬらふ
△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり
△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり

△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり
△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり
△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり

△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり
△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり
△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり

△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり
△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり
△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり

△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり
△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり
△おのりおのりおのりおのりおのりおのりおのりおのり

百六十五

と乳^{サセ}歳とす又ひのさうした云 秘^シ様あり

一 ちかれらるるしと云 ㊦ やかれら 摺くちかれらる家皆同

一 ㊦ どのこの板^{イタ}昇^{ノボ}摺れおれおの摺^シりゆんさあまた

一 ㊦ ゆるひと云 ㊦ むやうしんゆるひあたと云

一 ㊦ あくひと云 ㊦ むぐまんとあうりしと云

一 ㊦ ざりつと云 ㊦ 七々小又因中くなくか乃靴と冠

一 ㊦ せうてき^{シラシ}と云 ㊦ ひかり小香^{カガヒ}

一 ㊦ ぬらぬらと云 ㊦ 駒^{ウマ}摺と云 ㊦ やくとあくと云

一 ㊦ 美^ミくれい^イと云 ㊦ 駒の風と云 ㊦ やいふあん

一 ㊦ 氷乃と云 ㊦ 氷^{コホリ}閉と云 ㊦ 冬川と云 ㊦ 車小と云

一 ㊦ くるぬくと云 ㊦ びとかりと云

△川^{カハ}越^コえはまとも車いとも氷のこびと云

一 ㊦ これもれと云 ㊦ これ雨^{アメ}のれ曲^マありはくつと云

一 ㊦ 魚^{イサ}と云 ㊦ 清^{キヨ}摺^シと云 ㊦ 春^{ハル}と云

一 ㊦ 山^{ヤマ}乃^ノ吹^フと云 ㊦ くりと云 ㊦ これられぬと云

一 ㊦ ろりと云 ㊦ あつ^ツかさと云 ㊦ 雲と云

一 ㊦ け^ケと云 ㊦ 世と云 ㊦ 衣あり傍^{ナカ}に云

一 ㊦ 小^コと云 ㊦ 小^コと云 ㊦ 小^コと云 ㊦ 小^コと云

一 ㊦ かくと云 ㊦ かくと云 ㊦ かくと云 ㊦ かくと云

一 ㊦ んと云 ㊦ つと云 ㊦ かくと云 ㊦ かくと云

△世^ヨといふ若^{ワカ}れ衣^イと云 ㊦ かいと云 ㊦ かいと云

一 ㊦ 柳^{ヤナギ}下^カと云 ㊦ 和^ワと云 ㊦ 和^ワと云 ㊦ 和^ワと云

一 ㊦ 本^{ホン}と云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云

一 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云

一 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云

一 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云

一 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云

一 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云

一 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云 ㊦ 衣^イと云

百六十一
三十一

△村をぬきしや、秋名今更ふとあつたさう、あつたや

「うらむせよ」

⑥ ぬらふはこゝろ深しとせ

「あひの風」

⑥ 小國より東風とあひの風とと人の甲

まらるふいりんとくゝあひの風とさり

「夜とくせよ」

⑧ 夜の夜かごととせよ作す

「物もさあすよ」

⑧ 物もさあすよとせ、物の茶あてとせ、ぬく

△又あつたの森の下系とぬれど、物もさあすよとせ、あつた今更

○の

「いの井より」

① 井より名は大和あつてきとせ、さうさうの

まはらさうさうや、まはらがまはらまはらとせ、さうさうの記さり

△ちりおさうさうの、まはらの、あつたあつたあつたあつたあ

「あひすんよ」

⑩ ちりくかごととせ、さうさうの

「えやいよ」

⑩ さうさうの、ちりくかごととせ、さうさうの

えぬとせよ、えやいよとせ、さうさうの

「えおよ」

⑩ 縁あつて他へえやいよとせ、さうさうの

ふとちりくかごととせ、えやいよとせ、さうさうの

小奇とせよとせ、えやいよとせ、さうさうの

「えぬのひよりよ」

⑩ 九門の枝とせよ、せよ

「えぬとせよ」

⑩ えぬとせよとせ、えやいよとせ、さうさうの

「えぬとせよ」

⑩ えぬとせよとせ、えやいよとせ、さうさうの

△えぬとせよとせ、えやいよとせ、さうさうの

「えぬとせよ」

⑩ 縁あつてえやいよとせ、さうさうの

えぬとせよとせ、えやいよとせ、さうさうの

百九十九

一、あさくれのよ ①天子の好の修成し 奇の物也

△物とよまき此男りの好物まごまごせれぬ人ぞあらん

一、あぢさゐ ①アレン門をたてひのしの花を云ふ

一、あぢあよ ②細代とまおとれりし奥のたぐ

らさしあぢり打は秋くららああられいとあふみ

奥とらんあふの相ありあぢありの奇ふ日次く

あぢあよも水奥のよと源乃仲海より川のい

くさひあぢあひたぐの儘とてこちのあぢあ

あぢあよも水奥のよと源乃仲海より川のい

△細代本ふりあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあ

△あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

一、あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

△あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

一、あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

△あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

△秋はこれあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあ

百九十九

△あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

一、あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

△あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

一、あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

△あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

一、あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

△あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

一、あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

△あぢあよのよと源のよあぢあぢあぢあぢあぢあ

「あまのいむよ」

① 竹刀し 登子のかきれと 勢也（用）

「あまの川よ」

② 松中の 葎川く 又は 國ふる

「あまの川よ」

③ さあー ぬくこあり

「あまの川よ」

④ 友乃より 愛ふりし

「あまの川よ」

⑤ あまの川よと云何 ぬくこあり

「あまの川よ」

⑥ 世中いあまの川よと云何 ぬくこあり

「あまの川よ」

⑦ 又 燿とじまの 悔くらり 絶ひあひて

「あまの川よ」

⑧ 井とくくろくたおのめ ぬくこあり

「あまの川よ」

⑨ 難波の 河よれく 絶ひ ぬくこあり

「あまの川よ」

⑩ あやふく ぬくこあり

「あまの川よ」

⑪ 月か 秋津 ぬくこあり

「あまの川よ」

⑫ ぬくこあり

「あまの川よ」

⑬ ありし ぬくこあり

「あまの川よ」

⑭ ぬくこあり

「あまの川よ」

⑮ ぬくこあり

「あまの川よ」

⑯ ぬくこあり

「あまの川よ」

⑰ ぬくこあり

「あまの川よ」

⑱ ぬくこあり

「あまの川よ」

⑲ ぬくこあり

「あまの川よ」

⑳ ぬくこあり

「あまの川よ」

㉑ ぬくこあり

「あまの川よ」

㉒ ぬくこあり

あけしよ ⑩ 仏神小権物しんま小権より同し

△七条かえと字あけしよはと申すは名のとふかり

天乃戸ト ⑪ 天のさしゆりといふはふりし

△天乃戸はゆりのちまきりし神は月乃能と申す

あけまねト ⑫ 和琴ありしとあけまねと申す

あけまねト ⑬ あけまねに仏神依倚なりし

ありしト ⑭ ありし神のちまき

あけまねト ⑮ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ⑯ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ⑰ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ⑱ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ⑲ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ⑳ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉑ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉒ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉓ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉔ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉕ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉖ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉗ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉘ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉙ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉚ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉛ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉜ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉝ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉞ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㉟ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㊱ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㊲ ありしと申すはまのちまきりし神の

あけまねト ㊳ ありしと申すはまのちまきりし神の

十四日男踏奇
十六日女踏奇

〇 〇

百六十一

一 何さうなりよ ① 拾遺おあぞくくろりこまり

一 何まれえつりよ ② あまれおふりあり

一 何やめええぬよ ③ 黒白とらぬくまあての後の

と云しつ路つり又あやめりかられ異名くこ

△何をゆや又月乃舊藩をあよと云くぬあゆま

一 何さくまぬよ ④ 猫くろり又一とあさくま

△何は受てあさくまぬあまのあまをこまうあれて

一 何ぞくろりよ ⑤ かろり候しるくあまをよふ

△何は入候あまれ候ふ候とあせまつりよ

一 何れあまぬよ ⑥ 別く難あましくあれり

△何れあまぬよ ⑦ 別く難あましくあれり

一 何れあまぬよ ⑧ 思ひ候りよろ候し

一 何れあまぬよ ⑨ 天書 天邊と云あまをこま

△何れあまぬよ ⑩ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ⑪ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ⑫ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ⑬ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ⑭ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ⑮ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ⑯ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ⑰ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ⑱ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ⑲ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ⑳ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ㉑ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ㉒ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

一 何れあまぬよ ㉓ 梅をれえいんくこの天を降る候あて

百六十二

若物なりと云せふも物や和泉志三三といかりり
まゝとくろひ志三三のいふ事かろしうこれあは
こい物とかりとて打つてまゝとてまゝとてまゝとて
いとまゝとてまゝとてこれあはと云物とてまゝとて

△時ぬとていかりの山のいかりとてまゝとて

「あゝとて」 ⑦ あらとてとてなり 合弦

「あゝとて」 ⑦ 侍とて男とて云り

「あゝとて」 ⑦ 簀とて去竹とて志三三とてこれいかり

「あゝとて」 ⑦ 儀謀とて去あさだ志三三とてなり

「あゝとて」 ⑦ あまれとてなり 和泉志三三といかり

「あゝとて」 ⑦ 和泉志三三といかりとてなり

△あゝとていかりとてなりとてなりとてなりとてなり

「あゝとて」 ③ りとていかりとてなりとてなりとてなり

△三三志三三といかりとてなりとてなりとてなり

△和泉志三三といかりとてなりとてなりとてなり

「あゝとて」 ③ 上三乃世なり

「あゝとて」 ④ 清い然なり 湯れびびあきとて

「あゝとて」 ④ 志三三とて去田舎れり 縣良とて

「あゝとて」 ④ 和泉志三三といかり

△あゝとていかりとてなりとてなりとてなりとてなり

「あゝとて」 ④ 和泉志三三といかりとてなり

△和泉志三三といかりとてなりとてなりとてなり

「おどろおどろいれよ」④四月朔日ふ大月ふけのみあり

「秋しもれん」⑤秋しとわれびと云ふなり

△流乃が乃流乃流乃林しもれんあまうし月とらふ

「あまの」⑥ ねんはと云ふし池田のおろ魚なりわ

そわのしあをぞと云り又いそ地といふもなり

「あまの」⑦ 男乃乃三歳ふあひ流乃幸の河小車

あまらふとあまらふと云又人なりてりあり

「わーい」⑧ 只流乃乃なり

「あやまの」⑨ あやまのさうさふ種なり

△花見つふの河の白あゆ抽かとのさあまをさるれぬ

△冬くお雲の上をくさるるあまのやがあやまこれる

「わーい」⑩ 若乃しれ中れあわくさるる地と云

△難波河舟はさる乃ありつものいふ辰も花やあま

「あまの」⑪ 女よふ花見し地乃なり

「あまの」⑫ 花見し地乃なり

△あけのさゆとゆき⑬ 赤くさるりさるるあまをあけ

△まのさゆとゆき⑭ 赤くさるりさるるあまをあけ

「天のとりゆき」⑮ 天のとりゆきと云り 林の系物

「あまの」⑯ 佛ふ花見し地乃なり 一杖の花

「あまの」⑰ 海乃乃なり

「あまの」⑱ 只花見のさゆしかハ物なり

△いそあまはあまかあまのいそあまのいそあま

つね目

百九十六

二「あやかよ」

⑩ あやあの下船又大切御神と云り

△ありぬきくさのみ持しかり教へてあやあを祀りし

△白ひき風ふそふ友梅をよまあやあを祀りし

一「あやかく」

⑪ 慈光の御と云り

一「あやう」

⑫ よそ入りお祭ふと云り

△月うらみ中に出りて行時と云り

一「あやわづら」

⑬ 二井名をたて合時二人

一「あやれい」

⑭ 天川長路の町押ひ

一「あやまのえ」

⑮ 雲乃あや

△廣立おののえと云り

△あさひ川の御神と云り

と後神を祀り

一「あやま」

⑯ くらかたおと

△ゆらまをひきつがほりお祭りし

一「あまはた」

⑰ 龍乃まこ人教と云り

△仲津波おあさりし

一「秋津野」

⑱ のうりのあや

一「あやれ」

⑲ あやうりおとあやうた

一「あやま」

⑳ 雲乃あや

△あやまを祀りし

△あやまを祀りし

△あやまを祀りし

〇 景目

○ 雑記

一 おどれたやトハ

ⓐ 表ウラあり

一 おのりまやトハ

ⓑ 門エド板イタ目メまマとト阿ア麻マ一ヒト云クニ結ムスぶス也ナ

一 おどろくやトハ

ⓒ ちチのノまマとトむムらラなナのノまマふフ也ナ

一 おの丸やトハ

ⓓ 芦アシ中ナカふフひヒらラ小コ庭ニワとト田タとト也ナ

△ 夕ツキ方カタふフとトひヒかカのノまマとト川カハ状カタ友トモ取トルりリやヤやヤ

一 おの乃夫トハ

ⓔ 追ツイ儼ゲンふフ鬼キとトあアるル夫ウツありリ芦アシ夫ウツ也ナ

一 おまぬくやトハ

ⓕ 維ヰ子シ付ツキ夫ウツあり

一 おりやあやトハ

ⓖ 葉エフ年ネン於オ外ソトふフ也ナ

△ 夕ツキ方カタふフとトひヒかカのノまマとト川カハ状カタ友トモ取トルりリやヤやヤ

一 おかぬえやトハ

ⓗ 一ヒトよりヨリこコりリとト也ナ

一 おど山トハ

ⓓ 一ヒトあアとト山ヤマ一ヒトあアとト山ヤマ一ヒトあアとト山ヤマ

一 おど山トハ

ⓔ 小コ中ナカのノまマとト山ヤマのノまマとト山ヤマ

又田川後乃后而大が后而小用也

一 長柳のふトハ

ⓕ 長ナガ柳ヤナギのノふフとト山ヤマ一ヒトあアとト山ヤマ

かづカズとト山ヤマ乃ノ柳ヤナギとト云クニふフとト山ヤマ

△ 長ナガ柳ヤナギ乃ノかカとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ

一 おかふトハ

ⓖ あアとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ

乃ノ林ハヤシもモあアりリとト又マタ山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ

△ 床トコ乃ノあアとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ

一 おくトハ

ⓗ 白シロ地チとト云クニあアとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ

△ 山ヤマ里サト乃ノあアとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ

一 おらトハ

ⓓ 光ヒカ陰カゲ乃ノまマとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ

わワらラひヒとト計ハカリのノまマとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ

一 おやトハ

ⓔ 車クルマ乃ノかカとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ乃ノかカとト山ヤマ

○ 雑記

百五十二

△おれは後お名車くくけてふたきよ引物せん

「わらたき」⑤ 車と云 一がよハ車ハハハ

△おれより何れたまき乃際どおれを命もどくこころい

「おれけ」④ わざありもたかり

「おれけ」④ 初めと云ふし但懐亦あきけりし

ありとかりてしむと云ふと定ぬ口のほと後らす

△子親けしおれけおれらるる名はらんわさあやとらん

「おれけ」④ 初めと云何おれけも何おれ合ん

△初めけおれらるる名はらんわさあやとらん

「おれけ」④ 初めありの初と云ぬりけりたん

△初めけけりぬ月と云ふと云ふは、里ふおれらるる白雲

△後おれおれけけりぬと云ふは、浦おれ月照りけり

「ありけり」④ 十月日より後乃月と云 最期と云

「おれらるる」⑤ 竹おれらるる物あり

「おれまたらふ」⑥ 初めあり

「あこ」③ してまどと云ハ書ハ何れ細引をく

「あふこ」③ 逢初也物とあふ初めらるるせり

古今俳情秘あまひ書のかここれあくと云ふ奇也後ス

△人あまるとおれけはあひりてあふとあれたらびりけり

「あまひこ」② たが初め乃異名あり

△我弱いともく初め初めあがハえと云ふは、おれよふ

「あまひこ」③ ひぐまと云ハ、山あふ奇也後ス

「あふこ」⑦ 麻のここのは初め一あてと云 初めあり

「あふこ」⑦ 雲林と云ハ、初めあり

〇愚言

二二二

△後して前よりいふまゝ山敷きなり此は井井地
「あまのこゝろ」 ① 喜丹本まこ ちまの幣あり

「あひのこゝろ」 ① およありひてあまの幣あり

「あまのこゝろ」 ① あまの海へ入時ままの幣あり
ちまの幣あり ちまの幣あり ちまの幣あり

△後より花のうりありあまのこゝろ
「あまのこゝろ」 ① 丹波乃石取世のたまのこゝろ

「あまのこゝろ」 ① あまのこゝろ ちまの幣あり

「あまのこゝろ」 ① 丹波乃石取世あり

△あまのこゝろあり

「あまのこゝろ」 ① 丹波乃石取世あり

「あまのこゝろ」 ① 丹波乃石取世あり

「あまのこゝろ」 ① 丹波乃石取世あり

「あまのこゝろ」 ① 丹波乃石取世あり

「あまのこゝろ」 ① 丹波乃石取世あり

「あまのこゝろ」 ① 丹波乃石取世あり

「あまのこゝろ」 ① 丹波乃石取世あり

「あまのこゝろ」 ① 丹波乃石取世あり

「あまのこゝろ」 ① 丹波乃石取世あり

後多し一史を讀みて龍天地をたまりて浪派のま

かたを山小徑で後末をふりては國を居と山迹と云

えん山又去わらす是と引故小志りゆてなん浪派

あけ申上 ① 女六案乃兜乃かり終るもささり

終角 鬚角と云小案の備小終角の髪とつるもて

角と終角りとる終鬚角かさら終角のかことりけ

る角かり又借るもふささあひまはりの終るささ

るおかり又あさの體版其の上お結ぶら終る

あさ終る結ぶら終る終り終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

あさ終る終る終る終る終る終る終る終る終る

古 指

△雲のしほのあまの栲をさ社んこひやのあま

△身いとい風をふを栲系るこへあまをわたらふとふ

あこまひしし
② 儀る栲 儀儀を去あこまひのりた

やらる源一はあつむ花の奇し 連儀の相し

△深きうやま下陰の石流あいられ入の流とらん

△深きうやま下陰の石流あいられ入の流とらん

△あまのまひしし
② あまのまひしし 塵とさり

あひまひしし
② 儀とどりの栲とく 紀伊國の

△七のあまのまひしし 栲系るこへあまをわたらふとふ

△かたのりあまもさるあまの儀とく 紀伊國の

△あまのまひしし
② 儀とく 紀伊國の

△あまのまひしし
② 儀とく 紀伊國の

△あまのまひしし
② 儀とく 紀伊國の

△あまのまひしし
② 儀とく 紀伊國の

△あまのまひしし
② 儀とく 紀伊國の

△あまのまひしし
② 儀とく 紀伊國の

△あまのまひしし
② 儀とく 紀伊國の

△あまのまひしし
② 儀とく 紀伊國の

△あまのまひしし
② 儀とく 紀伊國の

△あまのまひしし
② 儀とく 紀伊國の

△あまのまひしし
② 儀とく 紀伊國の

△あまのまひしし
② 儀とく 紀伊國の

紀伊國

栲

紀伊國

栲

「あつひのすゝ」 ② 日つづから花のまきおちるし

△あつひのすゝは神皇正統記の目録をよみおぼえられたるらん

△世中とゆふとくはあつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

○ 〇

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

△あつひのすゝは神皇正統記の目録をよみおぼえられたるらん

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

「あつひのすゝ」 ② あつひのすゝは神皇正統記の二巻

白蛇さいつまゝしてなまじりおし白ふはあつとてまゝに

① 世尊サカニくればよしサカニ 奇キあり

② 黄泉クハミ乃るも 林ハヤシ去サあり

③ さわらぶとてまゝに 不フたつと

④ 白蛇の目メは

⑤ 白蛇の目メは

⑥ 白蛇の目メは

⑦ 白蛇の目メは

⑧ 白蛇の目メは

⑨ 白蛇の目メは

⑩ 白蛇の目メは

⑪ 白蛇の目メは

⑫ 白蛇の目メは

⑬ 白蛇の目メは

⑭ 白蛇の目メは

⑮ 白蛇の目メは

⑯ 白蛇の目メは

⑰ 白蛇の目メは

⑱ 白蛇の目メは

⑲ 白蛇の目メは

⑳ 白蛇の目メは

㉑ 白蛇の目メは

㉒ 白蛇の目メは

㉓ 白蛇の目メは

㉔ 白蛇の目メは

㉕ 白蛇の目メは

㉖ 白蛇の目メは

とら瓜とく物し年かたあどまらりううゆいお
あしきいこれと帯お付しあり

一 傍りりハ ① 傍と傍をし 紅糸結 車結何あり

△傍結ぬハ有りこぬゆいぬうた花尻陰ふかく見え

△見しはく 傍の夏名 善善子ぬたのえあふぬ指おめうり見れを 人丸

ういえとちりハ ① 着て一こりぬとちりハ ① 百着多よ

△きれ梅乃花並ぬおれがうつこいどらら百吉多 お持

一 ちや小丸ぬハ ② さやたしおぬあり

一 ちやさよぬうよ ④ たはぬらふいふそし傍りりし 小藤

△川上赤袴けうう置あやくおまひくして結ふちうられ

一 ちやちやハ ④ 餅とま ちりそくうらふとまきさうら

△ちやちやハ ④ 餅とま ちりそくうらふとまきさうら

一 ちやちやハ ④ 餅とま ちりそくうらふとまきさうら

一 ちやちやハ ④ 餅とま ちりそくうらふとまきさうら

一 ちやちやハ ④ 餅とま ちりそくうらふとまきさうら

一 ちやちやハ ④ 餅とま ちりそくうらふとまきさうら

一 ちやちやハ ④ 餅とま ちりそくうらふとまきさうら

一 ちやちやハ ④ 餅とま ちりそくうらふとまきさうら

一 ちやちやハ ④ 餅とま ちりそくうらふとまきさうら

一 ちやちやハ ④ 餅とま ちりそくうらふとまきさうら

一 ちやちやハ ④ 餅とま ちりそくうらふとまきさうら

と色並くゆりぬあさゆくとれびにぬれらぬもろ
ふかりてさぬふりかたありぬれびにせむかきり

△此自ら一匹の虎杖をまともなびらぬぬえと糸

△このころまじりまじりまじりぬぬえと糸ぬぬえと糸

「かみぐりまよ」④布でう接した人かひのさぬゆのひ

まぬぬえと糸まじりのころぬぬえと糸りゆりぬぬえと糸

もぬぬえと糸又まじりぬぬえと糸とゆりぬぬえと糸

△ゆりぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

△ゆりぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

「かみぐりまよ」④ 神おまじりぬぬえと糸又ぬぬえと糸

ゆりぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

云々酒の便と云々又かき酒と云々ぬぬえと糸ぬぬえと糸

と云々一三昔の糸と云々ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

△酒の便と云々ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

「かみぐりまよ」④ 大まじりぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

△ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

「かみぐりまよ」④ ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

神おまじりぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

ゆりぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

後系持弁合小後ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸ぬぬえと糸

心を留めしむ。然言非上但し先例ありたふ能はらる
① 流人乃神した遷し去又のりりり
神の踪跡と云。先原氏と云く流されたるの可

△ 月影をくくると人か夜をたるといふ。後の教いふを
神に挑み居る中納言乃配下乃月影をくくるといふ

△ 飛多と云くといふ。月影の影の人の空も云り。宵火
の吟唱 懐引い去りよ月影と云

△ 後山は乃とはまの祖と云くといふ。あつたいせんを
いふよふよふ ⑦ 吟と云 柱山のゆし

⑧ 神木の名一いぬまふよふ ⑨ ぼろぼろの
橋ありていふよふ ⑩ 橋のつら麻と云くを云く

△ 橋麻乃下乃下まをいふと云く。別れたの橋ありて云く
さくし子ト ⑪ 龍二人の男ふあつたれ女さくし子ト

林乃中ふりく木ふらびどけりてあつたり二人の男か
かゝと奇と云くといふ。とりのゆり二奇林ト云

△ 云されかきいふせんとおひの橋の雲のあふらるる
いり居あけりる橋たさつら子やいんあつた

⑫ 端にこゝろさつりさつりありてい
⑬ といふ

⑭ といふ
⑮ といふ

⑯ といふ
⑰ といふ

⑱ といふ
⑲ といふ

〇 〇

〇

〇

〇

只れりの方ニハ二史カ道一切能生く去リ

△かくとにえやうのたのこもまうもあうあうの

△只れちあらうのたのこも世中におんかたりハ

一 ちりこトハ ⑩ 松木トハ 一 こと世系トハ ⑪ 草トハ

一 ちり木トハ ⑫ 荷系乃乃内時乃乃小九百七十

みむ乃伏木トハ ⑬ ちり乃字トハ ⑭ 祥乃

一 ちり乃トハ ⑮ ちり乃トハ ⑯ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ⑰ ちり乃トハ ⑱ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ⑲ ちり乃トハ ⑳ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ㉑ ちり乃トハ ㉒ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ㉓ ちり乃トハ ㉔ ちり乃トハ

△ちり乃トハ ㉕ ちり乃トハ ㉖ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ㉗ ちり乃トハ ㉘ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ㉙ ちり乃トハ ㉚ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ㉛ ちり乃トハ ㉜ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ㉝ ちり乃トハ ㉞ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ㉟ ちり乃トハ ㊱ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ㊲ ちり乃トハ ㊳ ちり乃トハ

△ちり乃トハ ㊴ ちり乃トハ ㊵ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ㊶ ちり乃トハ ㊷ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ㊸ ちり乃トハ ㊹ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ㊺ ちり乃トハ ㊻ ちり乃トハ

△ちり乃トハ ㊼ ちり乃トハ ㊽ ちり乃トハ

一 ちり乃トハ ㊾ ちり乃トハ ㊿ ちり乃トハ

△ちり乃トハ ㊿ ちり乃トハ ㊿ ちり乃トハ

③ 乃延神也 後逢坂ちう神也

④ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑤ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑥ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑦ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑧ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑨ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑩ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑪ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑫ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑬ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑭ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑮ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑯ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑰ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑱ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑲ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

⑳ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

㉑ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

㉒ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

㉓ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

㉔ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

㉕ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

㉖ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

㉗ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

㉘ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

㉙ 乃延神也 乃延神也 乃延神也 乃延神也

くわい強と新ハもくあくとまふろす

「さくもよ」⑤ 森塔の宛 一「さくもよ」⑥ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」⑦ 後夜と云ふ所と云ふ ⑧ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」⑨ 森と云ふ所と云ふ ⑩ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」⑪ 森と云ふ所と云ふ ⑫ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」⑬ 森と云ふ所と云ふ ⑭ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」⑮ 森と云ふ所と云ふ ⑯ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」⑰ 森と云ふ所と云ふ ⑱ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」⑲ 森と云ふ所と云ふ ⑳ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㉑ 森と云ふ所と云ふ ㉒ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㉓ 森と云ふ所と云ふ ㉔ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㉕ 森と云ふ所と云ふ ㉖ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㉗ 森と云ふ所と云ふ ㉘ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㉙ 森と云ふ所と云ふ ㉚ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㉛ 森と云ふ所と云ふ ㉜ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㉝ 森と云ふ所と云ふ ㉞ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㉟ 森と云ふ所と云ふ ㊱ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㊲ 森と云ふ所と云ふ ㊳ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㊴ 森と云ふ所と云ふ ㊵ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㊶ 森と云ふ所と云ふ ㊷ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㊸ 森と云ふ所と云ふ ㊹ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㊺ 森と云ふ所と云ふ ㊻ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㊼ 森と云ふ所と云ふ ㊽ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㊾ 森と云ふ所と云ふ ㊿ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」㊿ 森と云ふ所と云ふ ㊿ 森と云ふ所と云ふ

くわい強と新ハもくあくとまふろす

「さくもよ」① 森と云ふ所と云ふ ② 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」③ 森と云ふ所と云ふ ④ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」⑤ 森と云ふ所と云ふ ⑥ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」⑦ 森と云ふ所と云ふ ⑧ 森と云ふ所と云ふ

「さくもよ」⑨ 森と云ふ所と云ふ ⑩ 森と云ふ所と云ふ

「さあさりよ」 ① 夜肥く正月乃夜に降る中

「かまのこよ」 ① かりれ時刻し暮月、（註）始

△子名喚るれ山嵐あるれ袖あひくひきこもるん

「さえさりよ」 ① 霧の消く又増くと云 （註）さうりゆら

△物名地の地はけつたとえ海に消ゆりつらふさくいふ

「さよはりよ」 ① 月限とさうさういふさういふ

△（註）繁とさうりかた持をさうさうあり

「さうとさうよ」 ① 多れさうと兼安無くとも玉張く

「相ふとさうよ」 ① 風圓なり聖代ふ出現と徹書記

△中くふおた屋丸なり相ふと増とせ秋のさ月

い奇代の札と備うな夜た遷せられ（註）七月玉委の夜

△中くふおた玉おのちふおらん物成くさのたられ

い奇おく飛成ゆり百五さりり夜おの奇

「さあく」 ② さうさうさうり

「さやとさよ」 ④ 兼高く一夜乃あうよ ④ さあれてさふ

「さひとよ」 ⑦ さうさうさう又増さうた

「さりれりよ」 ④ さうさうさうさう中 ④ さう中あり

「菊乃とさよ」 ④ 兼陽乃さふ菊ふお成あて

△さく八月すり増さひとさう成させつと云

△増さう菊れさよとさうさうさうた増れた候さう

「さうさう」 ④ 出村のさす （註）兼濁く去

△世中のかこへり兼濁れおまのさやと我高かへ 終周

「さうさう」 ④ 兼兼とさうさう

西行 二首

△秋のくさね下すくまふんを月ツキの二月ニガハの山ヤマ 西行
① 木をよキ ② 佐渡サツマの楸クサ 丸マル木キ持モチ 麻衣マキ ぬいぬいたり

△名ひまをそれ麻衣マキわすれとほくやびと神カミのさるるぬ
③ 夜ヨと打ウく秋アキしころも打ウくも月ツキ

△ままの禰ニ言コトはまをそ物モノふ社ヤシにあらさるる内ウチ就ツキ王キミ
④ 秋アキ乃ノ老ラウあり

△ままの禰ニ海ウミ乃ノたの八ヤチ重シ鹿カ音ネのふらさるる小コ 上野ウエノ
⑤ 夕ユフのくぬねノ ⑥ ままのまの秋アキ乃ノ老ラウあり

△ままの禰ニ言コトはまをそ物モノふ社ヤシにあらさるる内ウチ就ツキ王キミ
⑦ 秋アキ乃ノ老ラウあり

△ままの禰ニ言コトはまをそ物モノふ社ヤシにあらさるる内ウチ就ツキ王キミ
⑧ 秋アキ乃ノ老ラウあり

△ままの禰ニ言コトはまをそ物モノふ社ヤシにあらさるる内ウチ就ツキ王キミ
⑨ 秋アキ乃ノ老ラウあり

△ままの禰ニ言コトはまをそ物モノふ社ヤシにあらさるる内ウチ就ツキ王キミ
⑩ 秋アキ乃ノ老ラウあり

△ままの禰ニ言コトはまをそ物モノふ社ヤシにあらさるる内ウチ就ツキ王キミ
⑪ 秋アキ乃ノ老ラウあり

△ままの禰ニ言コトはまをそ物モノふ社ヤシにあらさるる内ウチ就ツキ王キミ
⑫ 秋アキ乃ノ老ラウあり

△ままの禰ニ言コトはまをそ物モノふ社ヤシにあらさるる内ウチ就ツキ王キミ
⑬ 秋アキ乃ノ老ラウあり

△ままの禰ニ言コトはまをそ物モノふ社ヤシにあらさるる内ウチ就ツキ王キミ
⑭ 秋アキ乃ノ老ラウあり

△ままの禰ニ言コトはまをそ物モノふ社ヤシにあらさるる内ウチ就ツキ王キミ
⑮ 秋アキ乃ノ老ラウあり

△ままの禰ニ言コトはまをそ物モノふ社ヤシにあらさるる内ウチ就ツキ王キミ
⑯ 秋アキ乃ノ老ラウあり

一 とうとうトハ ④ いさくしくありのちろたまうくとま三言及

△ちから倍まうとうと舟のちら喜と江の答や女とせらん

一 さうかうトハ ⑤ 桔梗ありひてくくさ大

△あさくらく聖いぬふり白鳥のとげらまよと色まさくらり

一 本丸どれトハ ⑥ 天智天皇はくしの所立也 朝心のはたし社

△あさくらや木のを板お紙掲げ居家とつてけんかふそ

一 三言トハ ⑦ ちいさやあまらるのちあらざりトハ

しまてふてみみちうら河くやとまてやいと安。拙はあて

まて拙てあてくすこいあは倍の河く又一まのこころ

くりともかへしありのとあてまのありにくりにあひの

相ふりものせりと月うけらるる。いとあてまのあてま

あつれいよやいとあつれいよとあてまのあてま。あつれいよ

てふとあつれいよやいとあつれいよとあてまのあてま

あつれいよとあつれいよとあつれいよとあてまのあてま

とあてまのあつれいよとあつれいよとあてまのあてま

あつれいよとあつれいよとあつれいよとあてまのあてま

△年とけて又あつれいよとあつれいよとあてまのあてま

句三 名られやあつれいよとあつれいよとあてまのあてま

一 ちいさやあつれいよとあつれいよとあてまのあてま

一 さすかあつれいよとあつれいよとあてまのあてま

△よよ海城のつとあつれいよとあつれいよとあてまのあてま

一 ちいさやあつれいよとあつれいよとあてまのあてま

まのちいさやあつれいよとあつれいよとあてまのあてま

一 ちいさやあつれいよとあつれいよとあてまのあてま

一 ちいさやあつれいよとあつれいよとあてまのあてま

〇 徳目

三十一

三十一

一 浦田又清雅と去 備へたるし

一 流ふるく 菅とく 流とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

一 菅とく 菅とく 菅とく 菅とく

△かたつちとく首あきとまのこは夜ぐまうらぐのこたまり
 「ゆふぐんよ」 ①花あぢれぬあまほさきし 八重あぢみ
 長どあへん ②夏はなる時なる物し蟹もぬつ物あはれ
 △まごころの秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 「秋あぢみ青けし髪とてさつらにほくしぬもあまのこたまり」
 「ゆふぐんよ」 ③秋はなる時なる物し蟹もぬつ物あはれ
 △ゆふぐんよ ④秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑤秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑥秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑦秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑧秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑨秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑩秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり

△ゆふぐんよ ⑪秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑫秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑬秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑭秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑮秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑯秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑰秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑱秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑲秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり
 △ゆふぐんよ ⑳秋あぢみとてさつらにほくしぬもあまのこたまり

源氏物語

卷之九

二百十九

後系後乃可示

△あまのくき流のまをれきうめきくく入りきたる

△あまのくき流①

△あまのくき流② ゆきんせいのり

△位世の世に安んずる者入の世に安んずる者入の世に安んずる者入

△皆くは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△一巻のまじわるといふの書はよめのかゝり

△ゆきんせいのり① 若きく、麻の合②

△ゆきんせいのり② 又月と夕月ハ夕日と夕日ハ夕日ハ夕日

△ゆきんせいのり③ 殿ふゆれんとくふしたゆきんせいのり

△ゆきんせいのり④ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△ゆきんせいのり⑤ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△ゆきんせいのり⑥ 夕日と夕日ハ夕日と夕日ハ夕日

△ゆきんせいのり⑦ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△ゆきんせいのり⑧ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△ゆきんせいのり⑨ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△ゆきんせいのり⑩ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△ゆきんせいのり⑪ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△ゆきんせいのり⑫ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△ゆきんせいのり⑬ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△ゆきんせいのり⑭ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△ゆきんせいのり⑮ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△ゆきんせいのり⑯ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△ゆきんせいのり⑰ かくは改さんとくふの社格よめは改さんとくふの社格

△及家カスル所ノ一水ハニモオハルン行合ノ...

一 何カ...

△何カ... 作カ...

一 書カ...

△何カ... 此...

一 書カ...

△何カ... 此...

一 書カ...

△何カ... 此...

一 書カ...

△何カ... 此...

一 書カ...

△何カ... 此...

一 書カ...

△何カ... 此...

一 書カ...

△何カ... 此...

一 書カ...

△何カ... 此...

一 書カ...

△何カ... 此...

○ 卷四

△七々お取のぬきてくまはゆしきもさるるをほれ袖

「ゆふたさたよ」 ① 袷ふ取のよふかろ考七乃廿二

「タとごうたよ」 ② 義方ふじひのさりい入またごたを

△あひろるゑれ奴乃藤栄もものをぬれやたごうた

「ゆれはたさたよ」 ③ 紀列ありたごうた

△ゆれはたさたよ舟入わらうたゆれぬもさるゑれを

△ねをれぬひも夢ももあはれゆれぬぬのさる

「ゆはのうらうらよ」 ④ 梅田屋乃掃入舟の羽のうらうら

「さのうらうらよ」 ⑤ うらうらとゆあり

△さのうらうらの掃くうらうらとゆあり

「たはくひよ」 ⑥ 夕見たはくひよ

△たはくひよとゆあり

「タのうらうらよ」 ⑦ タのうらうらとゆあり

△たのうらうらとゆあり

「ゆはのうらうらよ」 ⑧ 梅乃屋乃掃入舟の羽のうらうら

△ゆはのうらうらとゆあり

「さのうらうらよ」 ⑨ さのうらうらとゆあり

△さのうらうらとゆあり

「ゆはのうらうらよ」 ⑩ 梅乃屋乃掃入舟の羽のうらうら

△ゆはのうらうらとゆあり

「ゆはのうらうらよ」 ⑪ 梅乃屋乃掃入舟の羽のうらうら

△ゆはのうらうらとゆあり

「ゆはのうらうらよ」 ⑫ 梅乃屋乃掃入舟の羽のうらうら

△ゆはのうらうらとゆあり

「ゆはのうらうらよ」 ⑬ 梅乃屋乃掃入舟の羽のうらうら

△ゆはのうらうらとゆあり

「ゆはのうらうらよ」 ⑭ 梅乃屋乃掃入舟の羽のうらうら

△ゆはのうらうらとゆあり

「ゆはのうらうらよ」 ⑮ 梅乃屋乃掃入舟の羽のうらうら

△ゆはのうらうらとゆあり

「ゆはのうらうらよ」 ⑯ 梅乃屋乃掃入舟の羽のうらうら

△ゆはのうらうらとゆあり

「めもとのに」 ③ 月夜にめとるるふ思ひに」

又草木乃景乃もろくもよむ

△津志乃難を其若のめとるに」 ④ 我思人志るも

△飛信保氣まら若のめとるに」 ⑤ 世に我思人志るも

「めら」 ⑥ 月夜に月夜に思ひに」

「めら」 ⑦ 光陰乃思ふるも」

△吾思ふ心ひられて物々のめとるる若れ思ふも

「めら」 ⑧ 寝又肝の字に何れも思ふも」

「めら」 ⑨ 感懐と去抛るるも」

「めら」 ⑩ 思ふも思ふも思ふも」

「めら」 ⑪ 思ふも思ふも思ふも」

きりあつるや中くちりま」

「めら」 ⑫ 思ふも思ふも思ふも」

「めら」 ⑬ 思ふも思ふも思ふも」

△さあれた月と合せよ海の浦も思ふ思ふの山崩れ

△山里乃嘆とれ松風や月影」

「めら」 ⑭ 西月之思」

「めら」 ⑮ 思ふも思ふも思ふも」

△川竹乃思ふるも思ふも思ふも」

△こあらたの思ふも思ふも思ふも」

「めら」 ⑯ 思ふも思ふも思ふも」

△苗と老は思ふも思ふも思ふも」

「めら」 ⑰ 思ふも思ふも思ふも」

△たぐひ思ふも思ふも思ふも」

△もとくはわきま〜人どろのふめく名よたおろくか
「めれすす」
②めれすすもえめももかありあり
目不離と去めめれめわをめぐり目とをかとり
くるわわくそくまふ奇と怪す

〇み

「みびら」
①移定こ
②移定こ
③移定こ
④移定こ
⑤移定こ
⑥移定こ
⑦移定こ
⑧移定こ
⑨移定こ
⑩移定こ
⑪移定こ
⑫移定こ
⑬移定こ
⑭移定こ
⑮移定こ
⑯移定こ
⑰移定こ
⑱移定こ
⑲移定こ
⑳移定こ
㉑移定こ
㉒移定こ
㉓移定こ
㉔移定こ
㉕移定こ
㉖移定こ
㉗移定こ
㉘移定こ
㉙移定こ
㉚移定こ
㉛移定こ
㉜移定こ
㉝移定こ
㉞移定こ
㉟移定こ
㊱移定こ
㊲移定こ
㊳移定こ
㊴移定こ
㊵移定こ
㊶移定こ
㊷移定こ
㊸移定こ
㊹移定こ
㊺移定こ
㊻移定こ
㊼移定こ
㊽移定こ
㊾移定こ
㊿移定こ

「みか」
①常陸乃名
②常陸乃名
③常陸乃名
④常陸乃名
⑤常陸乃名
⑥常陸乃名
⑦常陸乃名
⑧常陸乃名
⑨常陸乃名
⑩常陸乃名
⑪常陸乃名
⑫常陸乃名
⑬常陸乃名
⑭常陸乃名
⑮常陸乃名
⑯常陸乃名
⑰常陸乃名
⑱常陸乃名
⑲常陸乃名
⑳常陸乃名
㉑常陸乃名
㉒常陸乃名
㉓常陸乃名
㉔常陸乃名
㉕常陸乃名
㉖常陸乃名
㉗常陸乃名
㉘常陸乃名
㉙常陸乃名
㉚常陸乃名
㉛常陸乃名
㉜常陸乃名
㉝常陸乃名
㉞常陸乃名
㉟常陸乃名
㊱常陸乃名
㊲常陸乃名
㊳常陸乃名
㊴常陸乃名
㊵常陸乃名
㊶常陸乃名
㊷常陸乃名
㊸常陸乃名
㊹常陸乃名
㊺常陸乃名
㊻常陸乃名
㊼常陸乃名
㊽常陸乃名
㊾常陸乃名
㊿常陸乃名

〇

〇

〇

海松

三

一 海松 海松 一 見あつる 見あつる

二 見あつる 見あつる 三 見あつる 見あつる

四 見あつる 見あつる 五 見あつる 見あつる

六 見あつる 見あつる 七 見あつる 見あつる

八 見あつる 見あつる 九 見あつる 見あつる

十 見あつる 見あつる 十一 見あつる 見あつる

十二 見あつる 見あつる 十三 見あつる 見あつる

十四 見あつる 見あつる 十五 見あつる 見あつる

十六 見あつる 見あつる 十七 見あつる 見あつる

十八 見あつる 見あつる 十九 見あつる 見あつる

二十 見あつる 見あつる 二十一 見あつる 見あつる

二十二 見あつる 見あつる 二十三 見あつる 見あつる

二十四 見あつる 見あつる 二十五 見あつる 見あつる

二十六 見あつる 見あつる 二十七 見あつる 見あつる

二十八 見あつる 見あつる 二十九 見あつる 見あつる

三十 見あつる 見あつる 三十一 見あつる 見あつる

三十二 見あつる 見あつる 三十三 見あつる 見あつる

三十四 見あつる 見あつる 三十五 見あつる 見あつる

三十六 見あつる 見あつる 三十七 見あつる 見あつる

三十八 見あつる 見あつる 三十九 見あつる 見あつる

四十 見あつる 見あつる 四十一 見あつる 見あつる

四十二 見あつる 見あつる 四十三 見あつる 見あつる

四十四 見あつる 見あつる 四十五 見あつる 見あつる

四十六 見あつる 見あつる 四十七 見あつる 見あつる

四十八 見あつる 見あつる 四十九 見あつる 見あつる

五十 見あつる 見あつる 五十一 見あつる 見あつる

五十二 見あつる 見あつる 五十三 見あつる 見あつる

水乃花水乃花① 蓮花蓮花② 一花一花③ 梅乃梅乃④

みらみら花花① 玉枝玉枝乃花乃花② 酒酒花花③

ららのの山山乃乃花花① 重重成成乃乃時時列列水水田田と云と云山

りり初初くく金金成成乃乃時時列列水水田田と云と云山

皇皇乃乃代代々々と云と云東東乃乃山山乃乃金金花花と云と云

① 仙仙乃乃花花② 味味乃乃花花③

④ 味味乃乃花花⑤ 味味乃乃花花⑥

⑦ 味味乃乃花花⑧ 味味乃乃花花⑨

⑩ 味味乃乃花花⑪ 味味乃乃花花⑫

⑬ 味味乃乃花花⑭ 味味乃乃花花⑮

⑯ 味味乃乃花花⑰ 味味乃乃花花⑱

⑲ 味味乃乃花花⑳ 味味乃乃花花㉑

㉒ 味味乃乃花花㉓ 味味乃乃花花㉔

㉕ 味味乃乃花花㉖ 味味乃乃花花㉗

㉘ 味味乃乃花花㉙ 味味乃乃花花㉚

㉛ 味味乃乃花花㉜ 味味乃乃花花㉝

㉞ 味味乃乃花花㉟ 味味乃乃花花㊱

㊲ 味味乃乃花花㊳ 味味乃乃花花㊴

㊵ 味味乃乃花花㊶ 味味乃乃花花㊷

㊸ 味味乃乃花花㊹ 味味乃乃花花㊺

㊻ 味味乃乃花花㊼ 味味乃乃花花㊽

㊾ 味味乃乃花花㊿ 味味乃乃花花①

② 味味乃乃花花③ 味味乃乃花花④

⑤ 味味乃乃花花⑥ 味味乃乃花花⑦

⑧ 味味乃乃花花⑨ 味味乃乃花花⑩

⑪ 味味乃乃花花⑫ 味味乃乃花花⑬

⑭ 味味乃乃花花⑮ 味味乃乃花花⑯

奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

① 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

② 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

③ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

④ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑤ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑥ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑦ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑧ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑨ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑩ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑪ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑫ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑬ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑭ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑮ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑯ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑰ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑱ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

⑳ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

㉑ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

㉒ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

㉓ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

㉔ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

㉕ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

㉖ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

㉗ 奥州の山嶽も多し りくわしの木萩

一 水くもりのハ ④ かしん中つるも

一 かしんぬり⑤ 水の流るるを二一三 ぬりぬり⑥ 二つの水神の

一 かしんぬり⑦ かしんぬり⑧ かしんぬり⑨ かしんぬり⑩ かしんぬり

一 かしんぬり⑪ かしんぬり⑫ かしんぬり⑬ かしんぬり⑭ かしんぬり

一 かしんぬり⑮ かしんぬり⑯ かしんぬり⑰ かしんぬり⑱ かしんぬり

一 かしんぬり⑲ かしんぬり⑳ かしんぬり㉑ かしんぬり㉒ かしんぬり

一 かしんぬり㉓ かしんぬり㉔ かしんぬり㉕ かしんぬり㉖ かしんぬり

一 かしんぬり㉗ かしんぬり㉘ かしんぬり㉙ かしんぬり㉚ かしんぬり

一 かしんぬり㉛ かしんぬり㉜ かしんぬり㉝ かしんぬり㉞ かしんぬり

一 かしんぬり㉟ かしんぬり㊱ かしんぬり㊲ かしんぬり㊳ かしんぬり

一 かしんぬり㊴ かしんぬり㊵ かしんぬり㊶ かしんぬり㊷ かしんぬり

一 かしんぬり㊸ かしんぬり㊹ かしんぬり㊺ かしんぬり㊻ かしんぬり

一 かしんぬり㊼ かしんぬり㊽ かしんぬり㊾ かしんぬり㊿ かしんぬり

一 かしんぬり㋀ かしんぬり㋁ かしんぬり㋂ かしんぬり㋃ かしんぬり

一 かしんぬり㋄ かしんぬり㋅ かしんぬり㋆ かしんぬり㋇ かしんぬり

一 かしんぬり㋈ かしんぬり㋉ かしんぬり㋊ かしんぬり㋋ かしんぬり

一 かしんぬり㋌ かしんぬり㋍ かしんぬり㋎ かしんぬり㋏ かしんぬり

一 かしんぬり㋐ かしんぬり㋑ かしんぬり㋒ かしんぬり㋓ かしんぬり

一 かしんぬり㋔ かしんぬり㋕ かしんぬり㋖ かしんぬり㋗ かしんぬり

一 かしんぬり㋘ かしんぬり㋙ かしんぬり㋚ かしんぬり㋛ かしんぬり

一 かしんぬり㋜ かしんぬり㋝ かしんぬり㋞ かしんぬり㋟ かしんぬり

一 かしんぬり㊰ かしんぬり㊱ かしんぬり㊲ かしんぬり㊳ かしんぬり

一 かしんぬり㊴ かしんぬり㊵ かしんぬり㊶ かしんぬり㊷ かしんぬり

一 かしんぬり㊸ かしんぬり㊹ かしんぬり㊺ かしんぬり㊻ かしんぬり

一 かしんぬり㊼ かしんぬり㊽ かしんぬり㊾ かしんぬり㊿ かしんぬり

一 かしんぬり㋀ かしんぬり㋁ かしんぬり㋂ かしんぬり㋃ かしんぬり

一 かしんぬり㋄ かしんぬり㋅ かしんぬり㋆ かしんぬり㋇ かしんぬり

△麻のこしらへやぶがぞけて空あるのうは後(ま)きん

一 みどれた

△を食(ミラキ)とと天子(ミコ)にもちかば(ミカ)云(ク) 新(ニ)作(サ)天

白(ヒラ)あ(ア)後(ノ)つ(ツ)り(リ)あ(ア)と(ト)行(ユ)出(デ)し(シ)て(テ)足(ツ)と(ト)た(タ)し(シ)多(タ)く(ク)八(ヤ)と(ト)去(ク)日(ヒ)を(シ)流

あ(ア)ふ(フ)神(カミ)と(ト)あ(ア)ふ(フ)神(カミ)ふ(フ)ま(マ)り(リ)也(ヤ)び(ヒ)と(ト)ま(マ)れ(レ)く(ク)

一 みどれた

天子(ミコ)は(ハ)日(ヒ) 神(カミ)を(シ)思(オモ)ふ(フ) 一(ヒ)み(ミ)り(リ)た(タ)る(ル) 神(カミ)を(シ)思(オモ)ふ(フ) 十(ジ)三(サン)日(ヒ)の(ノ)中(ナカ)に

一 三(サン)日(ヒ)う(ウ)た(タ)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)と(ト)云(ク)神(カミ)の(ノ)玉(タマ)地(チ)久(キウ)と(ト)た(タ)る(ル)ふ(フ)

一(ヒ)め(メ)り(リ)又(マタ)神(カミ)乃(ノ)ふ(フ)意(イ)の(ノ)字(ジ)と(ト)あ(ア)ら(ラ)れた(レ)た(タ)事(コト)た(タ)る(ル)事(コト)あり(リ)

△は(ハ)神(カミ)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)也(ヤ)指(ササ)難(ガタ)の(ノ)之(ノ)也(ヤ)た(タ)り(リ)い(ハ)ひ(ヒ)神(カミ)と(ト)

△指(ササ)難(ガタ)也(ヤ)我(ガ)れ(レ)し(シ)神(カミ)め(メ)り(リ)事(コト)と(ト)も(モ)た(タ)る(ル)事(コト)と(ト)た(タ)る(ル)事(コト)と(ト)我(ガ)れ(レ)し(シ)神(カミ)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)

一 三(サン)日(ヒ)う(ウ)た(タ)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

一 みどれた

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

一 三(サン)日(ヒ)う(ウ)た(タ)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

一 三(サン)日(ヒ)う(ウ)た(タ)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

△三(サン)日(ヒ)の(ノ)祝(イハヒ)の(ノ)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)あ(ア)ら(ラ)る(ル)事(コト)と(ト)

△三浦出づる船をん年ぬた船をんもあつとさつり 無房

「三浦の行旅よ」 ④ 舟舟し 「三浦のしんげ」 ⑤ 元船し

「かどちるあよ」 ⑥ 洞ありあつた船が乗 ⑦ 洞の必きなり

「船くおのりあつたしんげ」 ⑧ 船の必きなり

洞乃のしんげあつたしんげ

△船くしんげあつたしんげ

「みさりの舟よ」 ③ 舟の舟の舟 ④ 舟の舟の舟

「見とろしんげ」 ③ 舟の舟の舟 ④ 舟の舟の舟

「みさりの舟よ」 ③ 舟の舟の舟 ④ 舟の舟の舟

「みさりの舟よ」 ③ 舟の舟の舟 ④ 舟の舟の舟

「みさりの舟よ」 ③ 舟の舟の舟 ④ 舟の舟の舟

「みさりの舟よ」 ③ 舟の舟の舟 ④ 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△三河はし海を記 舟の舟の舟

△我れむいふれひとていそくしんたにたれうまの訂

△ありのいふいふれひむかわれのいれひはなや書

△門のあよ ⑤ 琴平酒一 ⑥ ぬかれぬハ ⑦ ありぬぬ ⑧ ぬぬ

△むどりのぬハ ⑨ 六徳の殺来し ⑩ ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△松平のいふいふぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△せぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

〇し

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

△ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

一 志れおよ

③ 志げらるるは物おのたまひてかた

△志ておのたまひては物おのたまふなり④ 後

一 志れおよ

③ 志むやれは音候とあり

△志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

△志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

△志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

△志れおよは音候とあり

△志れおよは音候とあり

△志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志れおよ

④ 志れおよは音候とあり

一 志乃名トハ ① 時きあり志乃と名たむ

△名色の三山里あつた志乃の弁を計終とやあふ

一 志乃が名トハ ② 花乃名を八書ふ白花と云能因花ゆ

後れを推量天皇のおれお花一の時白麻の

て花のありえれがあけきりあめと云り

一 志乃のありトハ ③ あり花と又花と ありのりす

一 志乃のありトハ ④ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑤ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑥ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑦ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑧ 志乃のありトハ ありのりす

これハおとがけしゆく後ろ奇ありハ

一 志乃のありトハ ⑨ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑩ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑪ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑫ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑬ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑭ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑮ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑯ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑰ 志乃のありトハ ありのりす

一 志乃のありトハ ⑱ 志乃のありトハ ありのりす

三十一

三十一

△おのゝとてとく一糸採周位せられん由換すのり

△釣舟おとせぬれていふ名をいふ。りあはるる

△塩はくおよ

△おのろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

三十一

三十一

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△おのろまろトハ

△打とどろくたぬくめたと思はれ浦乃るおもはれくさ
ゑり山よ ① 甲列カケとていれ波ハ くの物モノ

△塩シホれ山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 冥途ミヤドとていれ波ハ 十王ジウウ神カミおもは

△常トコらちと睦ムスまじげぬ時トキもまどはれ波ハの波ハとていれ
△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

半尾山
山科を

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

三十一

三十一

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

△とぞの山ヤマとていれ波ハおもはれ浦乃るおもはれくさ
とぞの山ヤマ ① 大和オホニホとていれ波ハ

三ノ目

三ノ目

① 志乃下ふふ⑦ 志乃下ふふ ひらきとむしの落しりの

② 志乃下ふふ⑧ 志乃下ふふ 夜と云ふ三つを指す

③ 志乃下ふふ⑨ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

④ 志乃下ふふ⑩ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑤ 志乃下ふふ⑪ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑥ 志乃下ふふ⑫ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑦ 志乃下ふふ⑬ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑧ 志乃下ふふ⑭ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑨ 志乃下ふふ⑮ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑩ 志乃下ふふ⑯ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑪ 志乃下ふふ⑰ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑫ 志乃下ふふ⑱ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑬ 志乃下ふふ⑲ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑭ 志乃下ふふ⑳ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑮ 志乃下ふふ㉑ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑯ 志乃下ふふ㉒ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑰ 志乃下ふふ㉓ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑱ 志乃下ふふ㉔ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑲ 志乃下ふふ㉕ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

⑳ 志乃下ふふ㉖ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉑ 志乃下ふふ㉗ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉒ 志乃下ふふ㉘ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉓ 志乃下ふふ㉙ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉔ 志乃下ふふ㉚ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉕ 志乃下ふふ㉛ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉖ 志乃下ふふ㉜ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉗ 志乃下ふふ㉝ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉘ 志乃下ふふ㉞ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉙ 志乃下ふふ㉟ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉚ 志乃下ふふ㊱ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉛ 志乃下ふふ㊲ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉜ 志乃下ふふ㊳ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

㉝ 志乃下ふふ㊴ 志乃下ふふ 志乃下ふふの下枝

一 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ① 付名ツナナ ② 田名タナ ③ 又出田名マタデタナ

一 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ① 新羅國シンラク ② 新羅國シンラク ③ 新羅國シンラク

一 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ① 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ② 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ③ 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ

一 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ① 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ② 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ③ 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ

一 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ① 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ② 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ③ 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ

一 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ① 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ② 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ③ 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ

一 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ① 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ② 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ③ 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ

一 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ① 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ② 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ③ 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ

一 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ① 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ② 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ③ 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ

一 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ① 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ② 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ③ 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ

一 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ① 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ② 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ③ 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ

一 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ① 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ② 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ ③ 乃て乃田抄と云ナヲノノタノシヨ

古今

新編

新編

新編

△賢いことより入りと風の...
一 せんしゆらたよ ① 築地のよし 又各あたるリ

△任性く年ち...
一 老ト ② 清士 東門し 此無之 此松の及し

△所植ち...
一 老らふよ ③ 是れもまじりしもの

〇ひ

一 ひららよ ④ 継ぎこ 紅の屋に 継乃衣 志衣あり

一 ひららよ ⑤ 六月朔日 天五水とまらそ 継乃衣あり

とひららものやと... 乃月... 風... 此れお... 乃月... 乃月...

△水... 乃月... 乃月... 乃月...

△ま... 乃月... 乃月... 乃月...

△あ... 乃月... 乃月... 乃月...

一 ひ... 乃月... 乃月... 乃月...

一 ひ... 乃月... 乃月... 乃月...

一 ひ... 乃月... 乃月... 乃月...

△... 乃月... 乃月... 乃月...

△大あつたる森の木根深かりきとくふれりあつたの月
△あつた月夜をれ神託とふ人ふれりあつた月

① 水真々あつた月夜をれ神託とふ人ふれりあつた月

△ひとのやう川流ふあつた網代木のき年波のこらやうん 肥後

△いせ波のけいひとての煙さそららの網代みわりのさか神託

△人のまよ ① 人のまよりまよ 一人の國のまよ ① 作國事と云

△ひやくりか ① 秋さばたらし ① ひの夜さ中よ ① 中の所と云

△ひのつとれせよ ① 日本 ① 仁徳 ① 唐土 ① 堯舜 ① 禹
後撰本今と申す所よと云す一内と政大臣のまより

おつてまよしてゆきまよはさつたり 抱みはなまよりと云く
△教とてまよりまよりまよりまよりまよりまよりまより

△のさつ ① 思鳴子く ① 後ふりまよりまよりまよりまより

△ひのさつ ① 思鳴子く ① 後ふりまよりまよりまよりまより

△小山田のひのさつ ① 思鳴子く ① 後ふりまよりまよりまよりまより

△のさつ ① 思鳴子く ① 後ふりまよりまよりまよりまより

△のさつ ① 思鳴子く ① 後ふりまよりまよりまよりまより

△のさつ ① 思鳴子く ① 後ふりまよりまよりまよりまより

△のさつ ① 思鳴子く ① 後ふりまよりまよりまよりまより

△のさつ ① 思鳴子く ① 後ふりまよりまよりまよりまより

△のさつ ① 思鳴子く ① 後ふりまよりまよりまよりまより

△のさつ ① 思鳴子く ① 後ふりまよりまよりまよりまより

△のさつ ① 思鳴子く ① 後ふりまよりまよりまよりまより

△のさつ ① 思鳴子く ① 後ふりまよりまよりまよりまより

ひらのの十八
① 終西宮 四姓の 河内を 仁直をいふ

△ 難とのみそを新し ねおれや 年おく ねおれ 白雲 赤陸
② の 只風を 伸 しん まり 風を 後新抄

③ ひらの愛をく ひらの ちびと云 ひら
異より多く風ととり 絶道の風の吹や まぬありと

④ ひらの愛をく ひらの ひめを ひめ や や 元出方 元出方
大焼 大焼 ⑤ 西宮の 西宮の ⑥ 肥前 肥前 ⑦ ひらの

⑧ 久々 久々 ⑨ 頃 頃 ⑩ ひらの山 ひらの山 ⑪ 肥前 肥前 ⑫ ひらの車 ひらの車
庶乃車 庶乃車 ⑬ ひらの ひらの ⑭ ひらの ひらの ⑮ ひらの

⑯ ひらの ひらの ⑰ ひらの ひらの ⑱ ひらの ひらの ⑲ ひらの ひらの
ひらの ひらの ⑳ ひらの ひらの ㉑ ひらの ひらの ㉒ ひらの ひらの

⑳ ひらの ひらの ㉑ ひらの ひらの ㉒ ひらの ひらの ㉓ ひらの ひらの
㉔ ひらの ひらの ㉕ ひらの ひらの ㉖ ひらの ひらの ㉗ ひらの ひらの

㉘ ひらの ひらの ㉙ ひらの ひらの ㉚ ひらの ひらの ㉛ ひらの ひらの
㉜ ひらの ひらの ㉝ ひらの ひらの ㉞ ひらの ひらの ㉟ ひらの ひらの

㊱ ひらの ひらの ㊲ ひらの ひらの ㊳ ひらの ひらの ㊴ ひらの ひらの
㊵ ひらの ひらの ㊶ ひらの ひらの ㊷ ひらの ひらの ㊸ ひらの ひらの

㊹ ひらの ひらの ㊺ ひらの ひらの ㊻ ひらの ひらの ㊼ ひらの ひらの
㊽ ひらの ひらの ㊾ ひらの ひらの ㊿ ひらの ひらの

ひらの ひらの ① ひらの ひらの ② ひらの ひらの ③ ひらの ひらの
④ ひらの ひらの ⑤ ひらの ひらの ⑥ ひらの ひらの ⑦ ひらの ひらの

⑧ ひらの ひらの ⑨ ひらの ひらの ⑩ ひらの ひらの ⑪ ひらの ひらの
⑫ ひらの ひらの ⑬ ひらの ひらの ⑭ ひらの ひらの ⑮ ひらの ひらの

⑯ ひらの ひらの ⑰ ひらの ひらの ⑱ ひらの ひらの ⑲ ひらの ひらの
⑳ ひらの ひらの ㉑ ひらの ひらの ㉒ ひらの ひらの ㉓ ひらの ひらの

㉔ ひらの ひらの ㉕ ひらの ひらの ㉖ ひらの ひらの ㉗ ひらの ひらの
㉘ ひらの ひらの ㉙ ひらの ひらの ㉚ ひらの ひらの ㉛ ひらの ひらの

終西宮 河内を 仁直をいふ
後ひら

△[△]ふらふらおひりてひびきたるに打せしむおれそ一とらふ
二ひらりのおひりて ^③ 屠雨の筆 ^{食ふ} ^{ふる} ^{さる} ^{こと} ^さ

△[△]松平へまゝあふりつるす羊のあひりて ^あ ^ひ ^り ^て ^さ ^ら ^れ
二日く ^① ^お ^り ^き ^り ^と ^し ^ひ ^り ^の ^た ^り

△[△]暮のたの日の書 ^他 ^れ ^い ^も ^の ^り ^と ^あ ^く ^物 ^を ^焼 ^く ^さ
二ひ ^① ^ひ ^り ^の ^男 ^七 ^夕 ^し ^一 ^ひ ^と ^ひ ^り ^の ^時 ^燈 ^く ^お ^ひ ^ま ^れ

△[△]美里の ^あ ^ひ ^り ^て ^さ ^ら ^ぬ ^天 ^の ^川 ^を ^さ ^ら ^う ^実 ^と ^今 ^の ^あ ^め ^て ^よ
二ひ ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し

△[△]ひら ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し
二ひ ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し

△[△]ひら ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し
二ひ ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し

△[△]ひら ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し
二ひ ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し

△[△]ひら ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し
二ひ ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し

△[△]ひら ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し
二ひ ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し

△[△]ひら ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し
二ひ ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し

△[△]ひら ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し
二ひ ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し

△[△]ひら ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し
二ひ ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し

△[△]ひら ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し
二ひ ^① ^ひ ^り ^の ^徳 ^也 ^ひ ^も ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し ^一 ^水 ^の ^さ ^り ^し

乃石へく小基まるごとくふ糸修けかへて東方相
 へ被軍乃掛中く立世乃らるる乃一鳥のりる
 後天上のゆり又ふ糸一糸のりありしとあり
 の白玉乃らるる ② 時とあり ③ 坂割乃ありのまき
 のりふひの ④ 葉小海くはひの ⑤ ありふひの ⑥ 倍のあり
 のりや火の ⑦ 塩やくちのり又葉とくくする
 △沖津風吹ぬにや西の浦のありて一か大船始らん
 のりありふひの ⑧ 沖津のあり ⑨ ありふひの ⑩ ありふひの
 一鳥のりるすす ⑪ 去後乃改とく ⑫ 去後乃改とく
 一ありとわす ⑬ ありとわす 一ありとわす ⑭ ありとわす
 ○セ

一口とあり ① ありとあり ② ありとあり ③ ありとあり
 一ありとあり ④ ありとあり ⑤ ありとあり ⑥ ありとあり
 △石川やせよ小川の流るれば月もなれとありとありとあり
 石川文山 ⑦ ありとあり ⑧ ありとあり ⑨ ありとあり
 △瀬とありとあり ⑩ ありとあり ⑪ ありとあり ⑫ ありとあり
 一せり川とあり ⑬ ありとあり ⑭ ありとあり ⑮ ありとあり
 一せりひえとあり ⑯ ありとあり ⑰ ありとあり ⑱ ありとあり
 一せりふらとあり ⑲ ありとあり ⑳ ありとあり ㉑ ありとあり
 △大島井生れあり月ありとありとありとありとあり
 一ありとあり ㉒ ありとあり ㉓ ありとあり ㉔ ありとあり
 一ありとあり ㉕ ありとあり ㉖ ありとあり ㉗ ありとあり
 一ありとあり ㉘ ありとあり ㉙ ありとあり ㉚ ありとあり
 一ありとあり ㉛ ありとあり ㉜ ありとあり ㉝ ありとあり

一ありとあり 一ありとあり 一ありとあり 一ありとあり

△字と流と森の陰の弘川とせせりら麻のふく
 一 せしよ ④ 船回勢多 江引とあつたのふく
 一 せごのふく ④ 山城大なるおのふく

△大乗やせいのとそりりかきせりりし海とがてしに

一 せかよ ④ せりりせとたま
せかのりらとせりりとせしす
 せかよはらとせりりとせしす

一 せかよ乃れ ④ せし九く 一せりりつひよ ④ せしとらとゆん
せかよ乃れ ④ せし九く 一せりりつひよ ④ せしとらとゆん

△海をや摩りて思と月教かきけい命やそとせしは物

一 せくよの俣の字 ④ せしよ ④ せしよ
せくよの俣の字 ④ せしよ ④ せしよ
 せくよの俣の字 ④ せしよ ④ せしよ

一 せんどのかたは ④ せしよ ④ せしよ
せんどのかたは ④ せしよ ④ せしよ
 せんどのかたは ④ せしよ ④ せしよ

一 せんどのふか ④ せしよ ④ せしよ
せんどのふか ④ せしよ ④ せしよ
 せんどのふか ④ せしよ ④ せしよ

一 せしれれ ④ せしよ ④ せしよ
せしれれ ④ せしよ ④ せしよ
 せしれれ ④ せしよ ④ せしよ

△藤乃とれ夜乃夜乃すすれとらりりくもひひぬら
 轉乃夜乃夜乃けいバカも夜乃すすも人のあつた
 一 せりりもとも ④ せしよ ④ せしよ
せりりもとも ④ せしよ ④ せしよ
 せりりもとも ④ せしよ ④ せしよ

〇 す

一 せとあつた ④ せしよ ④ せしよ
せとあつた ④ せしよ ④ せしよ
 せとあつた ④ せしよ ④ せしよ

△美作か秋の女ゆめ乃れどる茶油のあつた

一 せしよ ④ せしよ ④ せしよ
せしよ ④ せしよ ④ せしよ
 せしよ ④ せしよ ④ せしよ

一 せしよ ④ せしよ ④ せしよ
せしよ ④ せしよ ④ せしよ
 せしよ ④ せしよ ④ せしよ

一 せしよ ④ せしよ ④ せしよ
せしよ ④ せしよ ④ せしよ
 せしよ ④ せしよ ④ せしよ

一 山くもとて勝る
④ 山くもとてありさる

一 山くもとて上
⑤ 廻のまよとてれめなり

一 山くもとて前
⑥ 山くもとて後ス一

一 山くもとて上
⑦ 速速なり一

一 山くもとて上
⑧ 指枝未枝し一

一 山くもとて上
⑨ 山くもとて乃

一 山くもとて上
⑩ 山くもとて乃

一 山くもとて上
⑪ 山くもとて乃

山くもとて上
⑫ 山くもとて乃

山くもとて上
⑬ 山くもとて乃

とくれ菓^ナ④ 潔^カ著^カ菓^ナ 松乃^ノの^シ

△^ニ世^ノの^ノ其^ノの^ノ使^ノ由^ノの^ノと^ノれ^ノ菓^ナ乃^ノ風^ノの^ノ天^ノ言^ノ

とく^レた^ナ⑤ 若^クと^ク ⑥ ^ニ世^ノの^ノ其^ノの^ノ使^ノ由^ノの^ノと^ノれ^ノ菓^ナ乃^ノ風^ノの^ノ天^ノ言^ノ

とく^レた^ナ⑦ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

△^ニ皇^ノの^ノ神^ノの^ノ表^ノの^ノ表^ノ乃^ノ之^ノの^ノ中^ノの^ノ海^ノと^ノ言^ノ

とく^レた^ナ⑧ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ⑨ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ⑩ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ⑪ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ⑫ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ⑬ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ⑭ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ⑮ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ⑯ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ⑰ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ⑱ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ⑲ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ⑳ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ㉑ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ㉒ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ㉓ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ㉔ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ㉕ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ㉖ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ㉗ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ㉘ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ㉙ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

とく^レた^ナ㉚ 皇^トと^ク天^ノ子^ノの^ノの^ノと^ノ 帝^ト王^ト

「どくもよ」 (c) 次中く又どくもよ又ちらく
乃山原地中よりかりやうめりさうりさうりさうり
色と云新小用ゆもはくさくさくさくさく

「どくもよ」 (e) 藤糸也乃食物又ハ別
乃山原地中よりかりやうめりさうりさうりさうり
色と云新小用ゆもはくさくさくさくさく

「どくもよ」 (f) 万葉夜とあり
「どくもよ」 (g) 宿世 宿世はるこ かつめりせと
「どくもよ」 (h) 宿世 宿世はるこ かつめりせと

「どくもよ」 (i) 宿世 宿世はるこ かつめりせと
「どくもよ」 (j) 宿世 宿世はるこ かつめりせと
「どくもよ」 (k) 宿世 宿世はるこ かつめりせと
「どくもよ」 (l) 宿世 宿世はるこ かつめりせと
「どくもよ」 (m) 宿世 宿世はるこ かつめりせと

慶長二年三月上旬と云や法眼信巴翁は前
中近杖糸乃後小附一紙不異書ふいりく
ゆりやあつて海乃多にかりの住居を
折節或人此一冊と袖巾一巻を中あまは
思ふにこれかき誰人乃志やせりしを
祿と云和尋乃浦小あつ海と志河らん入
功不切と云つとけ初小あつるべつて
あつる末代にまゐるる間法眼翁の地

志すれば此書乃久志記す所也
 未由と云ふれぬと先師既此初
 此書の規程は守りて守るべき也
 是の如くは猶鼓と制と只此後
 為とせんは志す先師乃此
 志すぬと云ふれぬと先師既此初
 乃と云ふれぬと先師既此初
 志すぬと云ふれぬと先師既此初

享保三戊戌歳六月吉日

寺町松原上ル

京 菊屋 七郎兵衛

日本橋南二丁目

江戸 萬屋 清兵衛

順慶町心齋橋筋

大坂 柏原屋清右衛門

大坂



